

令和 8 年度関東農政局国営事業管理委員会（再評価）

「茨城中部地区」

技術検討会（第 2 回）

技 術 検 討 会 資 料

令 和 8 年 7 月 3 0 日

関 東 農 政 局

目 次

資料名	項
1. 評価結果書（案）	茨城中部-1
2. 再評価説明資料（案）	茨城中部-6
3. 事業の効用に関する説明資料（案）	茨城中部-34

(案)

(関東農政局)

事業名		国営緊急農地再編整備事業		地区名		いばらきちゅうぶ 茨城中部									
都道府県名		茨城県		関係市町村名		みとし ひがしいばらきぐんいばらきまち 水戸市、東茨城郡茨城町									
事業概要	本地区は、茨城県中部の水戸市及び東茨城郡茨城町に位置し、一級河川那珂川水系那珂川及び涸沼川沿いに広がる水田地帯であり、水稻、小麦、大豆、かんしょ等を組み合わせた農業経営が行われている。 本地区の農地は小区画で用排水路が未整備であることに加えて農道が狭いため、大型機械の導入による効率的な農作業の妨げとなっていること等から、今後、耕作放棄地が増加するおそれがある。 このため、本事業では、区画整理を行い、耕作放棄地を含めた農地の土地利用を計画的に再編し、担い手への農地の利用集積を進めることにより、緊急的に生産性の向上と耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、農業の振興を基幹とした総合的な地域の活性化に資することを目的としている。 【事業内容等】 <table><tr><td>受益面積</td><td>652ha</td></tr><tr><td>主要工事計画</td><td>区画整理 652ha（水田 644ha、畑 8ha）</td></tr><tr><td>国営総事業費</td><td>25,200 百万円（令和 8 年度時点 25,200 百万円）</td></tr><tr><td>工期</td><td>平成 28 年度～令和 15 年度予定</td></tr></table>							受益面積	652ha	主要工事計画	区画整理 652ha（水田 644ha、畑 8ha）	国営総事業費	25,200 百万円（令和 8 年度時点 25,200 百万円）	工期	平成 28 年度～令和 15 年度予定
	受益面積	652ha													
主要工事計画	区画整理 652ha（水田 644ha、畑 8ha）														
国営総事業費	25,200 百万円（令和 8 年度時点 25,200 百万円）														
工期	平成 28 年度～令和 15 年度予定														
評価項目	【事業の進捗状況】 令和 7 年度までの事業の進捗率は、事業費ベースで 67.2％である。 主要工事計画の区画整理は、令和 7 年度までに 397ha（60.9％）が整備されており、一部では効果が発現している。														
	【関連事業の進捗状況】 本地区の関連事業は、農業水利施設の新設・更新を行う国営かんがい排水事業那珂川沿岸地区、県営水利施設等保全高度化事業及び団体営水利施設等保全高度化事業が位置付けられ、現在実施中であり、今後も事業の推進を図ることとしている。														

評価項目	【農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化】 1 総人口の推移 関係市町の総人口は、平成 22 年の 303,263 人から令和 2 年の 302,086 人へと 1,177 人 (0.4%) 減少しているが、茨城県の減少率 (3.5%) よりも小さい。 2 産業別就業人口 関係市町の産業別就業者人口 (農業) は、平成 22 年の 6,123 人から令和 2 年には 5,092 人へと 1,031 人 (16.8%) 減少しており、茨城県の減少率 (16.7%) とほぼ同じである。 関係市町の全就業人口に占める産業別就業人口の構成割合は、第 3 次産業 (75.3%) が最も大きく、平成 22 年から令和 2 年までの 10 年間で 3.3% 増加し、第 2 次産業 (18.7%) は 0.6% 増加した。なお、第 1 次産業 (3.7%) の就業者の 97% が農業就業者である。 3 経営耕地面積の推移 関係市町の経営耕地面積は、平成 22 年の 8,453ha から令和 2 年の 7,113ha へと 1,340ha (15.9%) 減少しており、茨城県の減少率 14.8% とほぼ同程度である。 4 農業経営体数及び経営規模別経営体数の推移 関係市町の農業経営体数は、平成 22 年の 5,309 経営体から令和 2 年には 3,544 経営体へと 1,765 経営体 (33.2%) 減少している。 個人経営体数は、平成 22 年の 5,261 経営体から令和 2 年には 3,474 経営体へと 1,787 経営体 (34.0%) 減少している。 団体経営体 (法人) 数は、平成 22 年の 30 経営体から令和 2 年の 51 経営体へと 21 経営体 (70.0%) 増加している一方で、団体経営体 (非法人) 数は、平成 22 年の 18 経営体から令和 2 年の 19 経営体 (5.6%) とほぼ横ばいである。 また、10ha 以上の経営耕地面積を持つ経営体数は平成 22 年の 58 経営体から令和 2 年の 109 経営体へと 51 経営体 (87.9%) 増加しており、地域農業を担う経営体の規模拡大が進んでいる。 5 認定農業者数の推移 関係市町の認定農業者数は、平成 28 年の 439 経営体から令和 6 年の 504 経営体へと 65 経営体 (14.8%) 増加しており、茨城県が減少傾向 (8.4% 減) にある中で、関係市町の認定農業者数は増加傾向にある。 6 農業産出額の推移 関係市町の農業産出額は、平成 28 年の 319 億円から令和 5 年の 294 億円へと 25 億円 (7.8%) 減少しており、茨城県の減少率 (7.5%) とほぼ同程度である。 類別の農業産出額は、令和 5 年では、野菜、米、鶏の順で大きく、うち米は 53 億円である。
------	---

	【事業計画の重要な部分の変更の必要性の有無】 現時点において、以下のとおり、事業計画の重要な部分の変更はない。 1 事業の施行に係る地域（受益面積及び事業目的別面積） 現時点で、事業の施行に係る地域の変更はない。 2 主要工事計画 現時点で、主要工事計画に係る重要な部分の変更はない。 3 事業費 令和8年度における国営総事業費は 25,200 百万円であり、現計画の 25,200 百万円に 対して変動はない。
評価項目	【費用対効果分析の基礎となる要因の変化】 1 地域農業振興の方向性 費用対効果分析の算定基礎となる県及び関係市町の地域農業振興の基本方針に大きな 変更はなく、本地区の営農計画はこれらの基本方針に則り策定されおり、大きな影響は ない。 2 費用対効果分析 直近の統計資料に基づく作物単価・単収の更新、評価基準年の更新（現在価値化）等 を反映し、費用対効果分析を行った結果は、以下のとおりである。 総便益（B） 45,711 百万円（現行計画 35,914 百万円） 総費用（C） 40,264 百万円（現行計画 33,628 百万円） 総費用総便益比（B／C） 1.13（現行計画 1.06） 注）総便益、総費用には関連事業を含む 【環境との調和への配慮】 事業の実施に当たっては、関係市町が策定している田園環境整備マスタープランとの整合 を図り、生態系等に配慮することとしており、具体的には、両生類の移動経路や魚類の生息 環境に配慮するため、支線排水路等の整備に当たって、蓋掛け（管暗渠）、瀬淵工などを設 置している。 【事業コスト縮減等の可能性】 工事における主な事業コストの縮減は以下のとおりである。 ○ 道路下用水路の浅埋設 区画整理で造成する道路下に埋設する用水路（管水路）において、道路管理者との協 議により、直径 300mm 以下の小口径管の埋設深さを 0.6m 以上（事業計画では認定道路下 で 1.2m 以上）の浅埋設とすることで、コスト縮減を図っている。 今後も事業完了に向けて、コスト縮減に努めることとしている。

	【その他】 水田の落水口に流出量を抑制するための調整板を取り付け、大雨の際に雨水を水田に一時的に貯留し、時間をかけて下流に流す「田んぼダム」の取組を行っており、洪水被害の防止・軽減に寄与している。 地区内では、令和7年度末までに300haで設置済みであり、今後も、本事業等にて推進を図ることとしている。
	【関係団体の意向】 茨城県、水戸市、東茨城郡茨城町、那珂川統合土地改良区、千波湖土地改良区及びひぬま川土地改良区の意向は次のとおりである。 国営茨城中部土地改良事業は、区画整理の施行により、農作業の効率化や生産コストの削減を図るとともに、大区画化及び担い手への農地利用集積を促進し、生産性の向上と耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、地域農業の活性化に資する重要な事業である。 整備されたほ場においては、大区画化等により生産基盤の強化や担い手への農地の集積・集約化が進展し、作業効率が飛躍的に向上するなど、事業効果が着実に発現している。 また、農業をとりまく情勢は、農業従事者の減少・高齢化に加え、原油価格の高騰・物価上昇等により深刻な状況にあることを踏まえ、事業コスト削減を積極的に講じるとともに、担い手への農地利用集積目標を関係者間全員で共有し、地域の理解と合意形成の確保に十分配慮のうえ、事業効果の早期発現に向け、適正かつ着実な事業執行をお願いする。
	【評価項目のまとめ】 本地域では、関係市町の農業経営体数や経営耕地面積は減少傾向にあるが、10ha以上の経営耕地面積を持つ経営体が増加しており、農業経営体の規模拡大が進んでいる。また、本地域は、水稻を中心とした農業生産性が高く効率的な農業経営の展開が期待される地域となっている。 本事業は、区画整理を行い、耕作放棄地を含めた農地の土地利用を計画的に再編し、担い手への農地の利用集積を進め、緊急的に生産性、収益性の向上及び耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、農業の振興を基幹とした総合的な地域の活性化に資することを目的としている。 関係団体も本事業による効果に期待するとともに、事業効果の早期発現に向け、適正かつ着実な事業執行を望んでいる。 このことから、県、市町、土地改良区等と連携を図り、一層の担い手への農地の利用集積、コスト削減や環境との調和に配慮しながら、事業を計画的かつ着実に推進していく。
	【技術検討委員会の意見】
	【事業の実施方針（案）】

<評価に使用した資料>

農林水産省農村振興局整備部（監修）〔改訂版〕「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷）

土地改良の費用対効果分析に関する基本指針の制定について（平成19年3月28日付け18農振第1596号農村振興局長通知（最終改正：令和7年4月2日））

土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局整備部長通知（最終改正：令和7年4月2日））

「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月））

3 日一部改正))

土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について (令和 5 年 9 月 13 日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡)

土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について (平成 19 年 3 月 28 日付け農林水産省農村振興局企画部長通知 (令和 8 年 3 月 31 日一部改正))

土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について (令和 8 年 3 月 31 日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐 (事業効果班) 事務連絡)

総務省統計局「平成 22 年国勢調査」、「平成 27 年国勢調査」、「令和 2 年国勢調査」

農林水産省大臣官房統計部「世界農林業センサス 2010」、「農林業センサス 2015」、「農林業センサス 2020」

農林水産省大臣官房統計部「作物統計調査」平成 28 年～令和 6 年

農林水産省大臣官房統計部「生産農業所得統計」及び「市町村別農業産出額 (推計)」平成 28 年～令和 5 年

経済産業省「2024 年経済構造実態調査 製造業事業所調査 (地域別統計表データ)」令和 7 (2025) 年 8 月 29 日公表

経済産業省「2023 年経済構造実態調査 製造業事業所調査 (地域別統計表データ)」令和 6 (2024) 年 7 月 26 日公表

経済産業省「2022 年経済構造実態調査 製造業事業所調査 (地域別統計表データ)」令和 6 (2024) 年 1 月 26 日訂正

経済産業省「経済センサス」平成 24 年、平成 28 年、令和 3 年

経済産業省「工業統計調査」平成 23 年、平成 25 年～平成 27 年、平成 29 年～令和 2 年

経済産業省「商業統計調査」平成 26 年

当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、関東農政局茨城中部農地整備事業所調べ

国 営 土 地 改 良 事 業 等 再 評 価

国 営 緊 急 農 地 再 編 整 備 事 業 「^{いばらきちゅうぶ}茨 城 中 部

」 地 区

再 評 価 説 明 資 料 (案)



令 和 8 年 7 月

関 東 農 政 局

目

次

1. 事業概要	1
2. 事業計画の概要	2
3. 事業の進捗状況	4
4. 関連事業の進捗状況	4
5. 農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化	5
6. 事業の重要な部分の変更の必要性の有無	14
7. 費用対効果分析の基礎となる要因の変化	16
8. 費用対効果分析の結果	21
9. 環境との調和への配慮	23
10. 事業コスト削減等の取組	25
11. その他	27

1. 事業概要

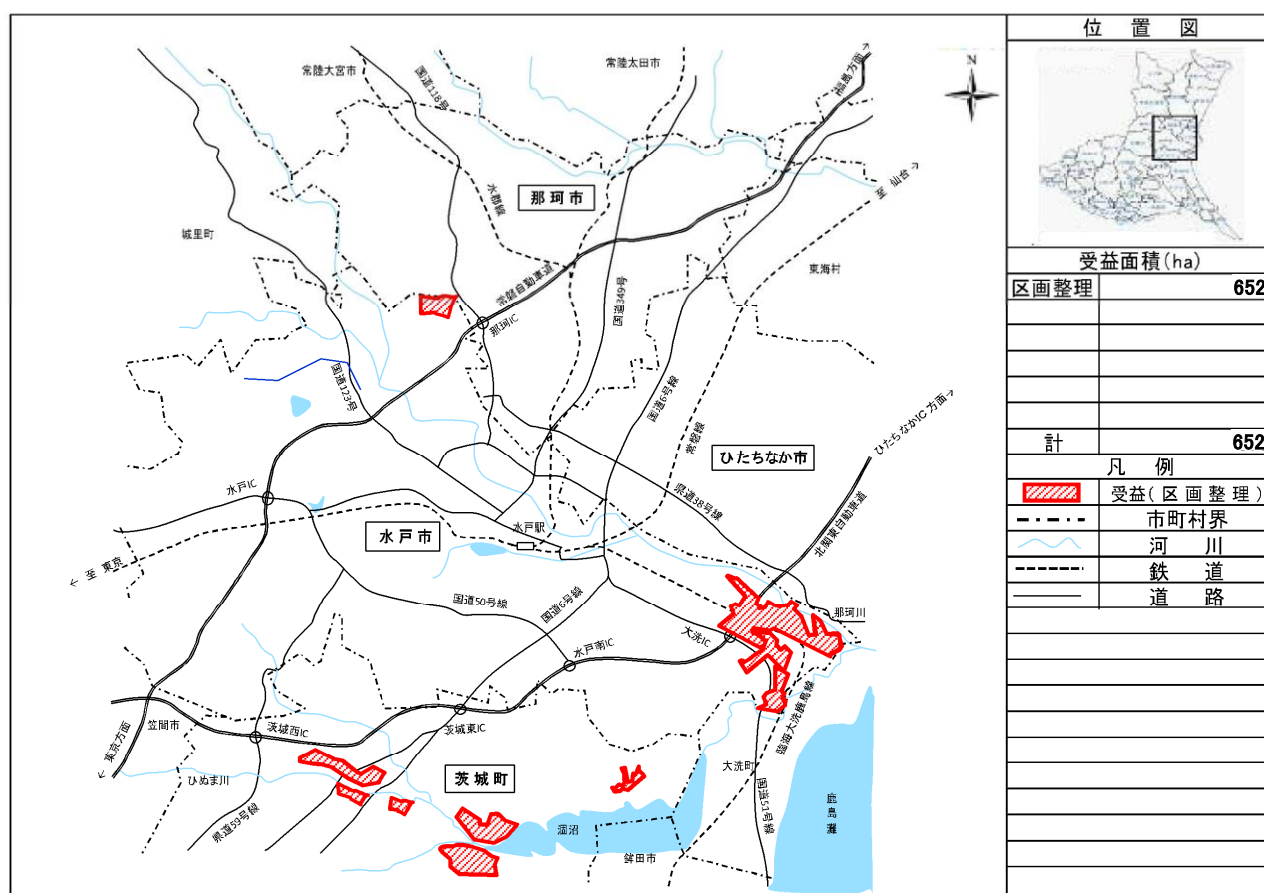
本地区は、茨城県中部に位置し、水戸市及び東茨城郡茨城町にまたがる一級河川那珂川水系那珂川及び一級河川那珂川水系涸沼川流域に広がる受益面積約 652ha の水田地帯である。営農は、水稻を中心に、麦、大豆、かんしょなどを組み合わせた経営が展開されている。

本地域には、水戸市の偕楽園に代表される歴史的な景観や、那珂川及び涸沼川沿いの田園景観が残されており、地域の一部は水戸市景観計画により景観区域に指定されているとともに、優れた自然の風景地として大洗県立自然公園に指定されている。一方で、県都水戸市に隣接する立地条件から、交通網が発達しており、周辺都市へのアクセスが良好である。

こうした状況の中、本地区は、県央地域の食料供給基地としての機能を有するとともに、水と緑の豊かな広がりのある水田景観を保持する場として、農業・農村の持つ多面的な機能を発揮している。

しかしながら、農地が小区画や排水不良であることが、効率的な農作業を行うための妨げとなっている。また、農業従事者の高齢化等により、将来的に耕作放棄地が増加するおそれがある。

このため、本事業では、区画整理 763ha を施行し、耕作放棄地を含めた農地の土地利用を計画的に再編し、担い手への農地の利用集積を進めることで、緊急的に生産性の向上と耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地確保を目指している。



2. 事業計画の概要

(1) 事業の概要

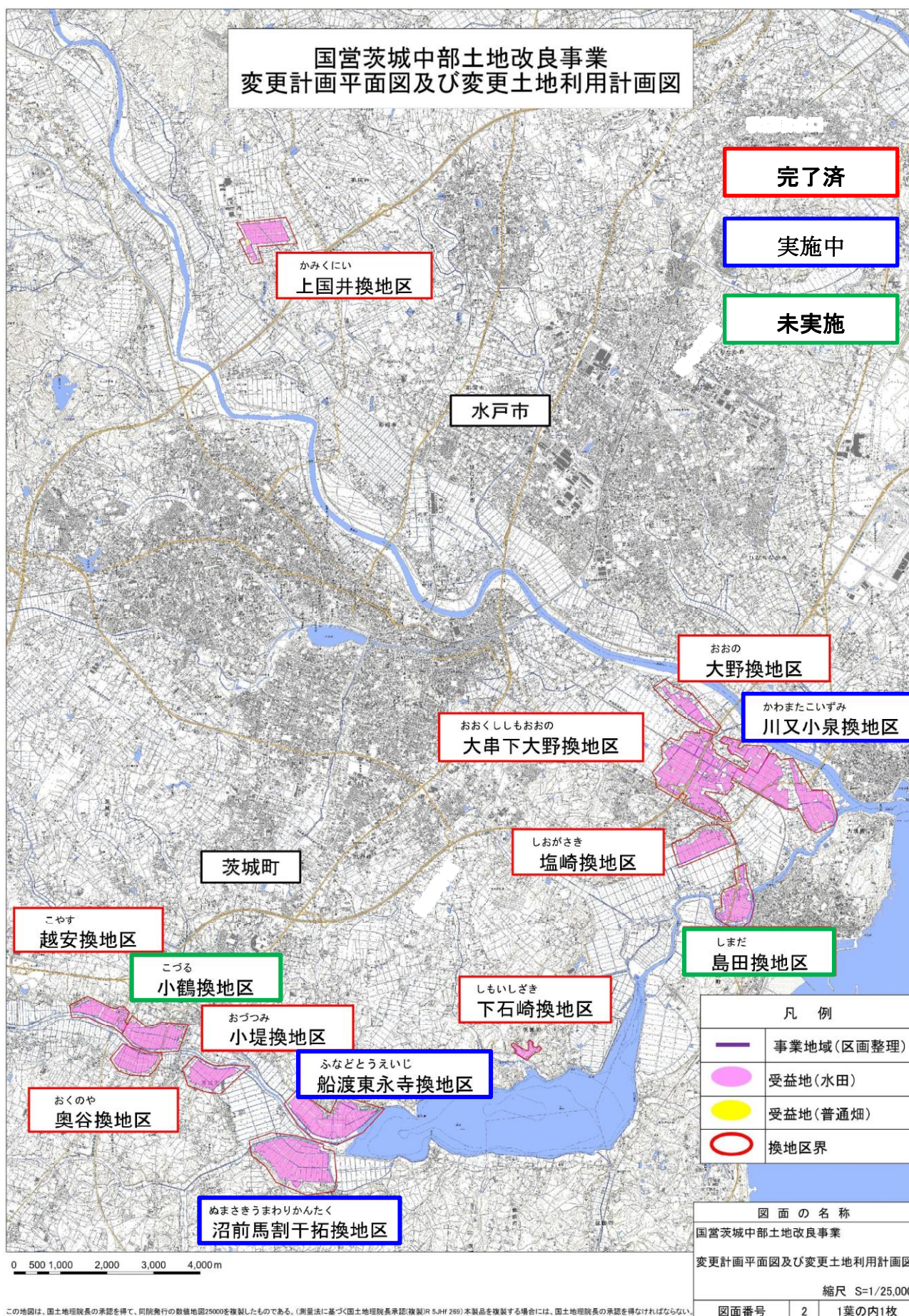
本地区の農地は、昭和30年代以降より水田10a～30a 区画のほ場整備事業が進められてきたものの、大規模営農に対応した50a～1ha 区画への二次整備の遅れにより、狭小なほ場・農道が多く残されているほか、末端用排水路が未整備であるため、大型機械の導入等による効率的な農作業の妨げとなっていることから、今後、耕作放棄地が増加するおそれがあった。

このため、本事業は、当初、区画整理を施行し、耕作放棄地を含めた農地の土地利用を計画的に再編し、担い手への農地の利用集積を進めることにより、緊急的に生産性の向上と耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、農業の振興を基幹とした総合的な地域の活性化に資することを目的としている。

(2) 事業計画の概要

項 目	内 容
主要工事	区画整理 652ha 標準区画 2.0ha (200m×100m) 1.0ha (100m×100m) 0.5ha (100m× 50m) 道路 78.6km 末端用水路 109.5km 末端排水路 69.8km 暗渠排水 607ha
事業費	25,200百万円(令和4年度単価)
事業期間	平成28年度～令和15年度 (18年間)

(3) 事業概要図



3. 事業の進捗状況

令和7年度までの全体の進捗率は、事業費ベースで67.2%である。

受益面積ベースでは、397ha(60.9%)の区画整理が完了し、整備後の農地で営農が行われており、令和8年度以降に区画整理工事を実施する農地が255ha(39.1%)となっている。

団地別では、大野、大串下大野、塩崎、上国井、奥谷、越安、小堤及び下石崎換地区が区画整理工事を完了している(大串下大野換地区については、暗渠排水工事を実施中)。また、川又小泉、沼前馬割干拓及び船渡東永寺換地区が区画整理工事を実施中であり、今後、島田及び小鶴換地区の区画整理工事に着手し、令和15年度の事業完了へ向け計画的に工事を進めていく予定である。

4. 関連事業の進捗状況

関連事業としては、国営那珂川沿岸土地改良事業、県営水利施設保全高度化事業及び団体営水利施設保全高度化事業を実施しており、それぞれ計画的に事業を推進している。

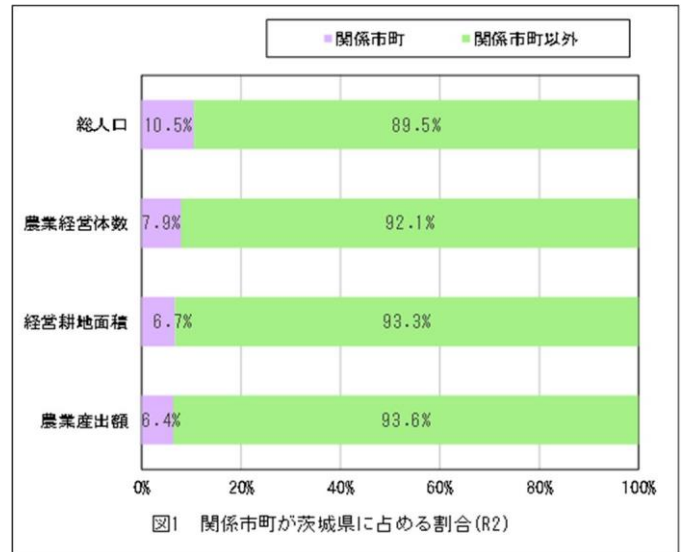
【実施状況】

事業名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
国営かんがい排水事業 「那珂川沿岸地区」																		
水利施設等保全高度化事業 県営「那珂川沿岸地区」																		
水利施設等保全高度化事業 団体営「那珂川沿岸地区」																		

5. 農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化

本事業の関係市町は、茨城県全体に対し総人口の10.5%、農業経営体数の7.9%、経営耕地面積の6.7%及び農業産出額の6.4%を占めている[図1]。関係市町の農業経営体数、経営耕地面積、農業産出額の割合は、県全体の各市町村平均に比べシェアが大きいと、関係市町は県内有数の農業地帯であることがうかがえる。

関係市町の人口は平成22年(2010年)から令和2年(2020年)の10年間で横ばい傾向にあり[図2]、農業就業者数の減少及び就業者の第3次産業への移行が見られる[図4]。その一方で、1経営体当たりの経営面積及び10.0ha以上の規模の経営体数は増加しており[図11、表3]、農地集積及び規模拡大が進んでいる。



市町村別農業産出額(推計)より

(1) 総人口の推移

【関係市町の人口は、横ばい傾向にある。】

関係市町の総人口は、平成22年度の303,263人から令和2年度の302,086人へと1,177人(0.4%)減少しており、茨城県の減少率(3.5%:2,969,770人から2,867,009人へと102,761人減少)よりも小さい[図2、表1]。

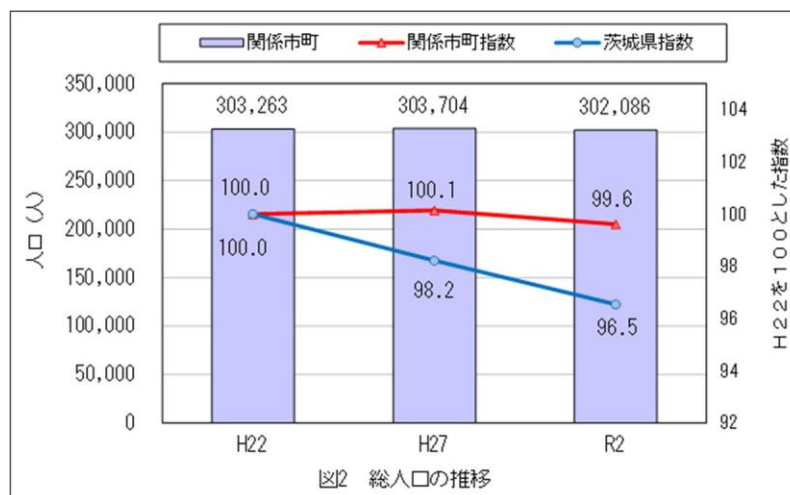


表1 総人口の推移

年	H22	H27	R2	H22 から R2 の増減
関係市町	303,263	303,704	302,086	△1,177
茨城県	2,969,770	2,916,976	2,867,009	△102,761

(単位: 人)

図2、表1: 国勢調査より

(2) 産業別就業者数に占める農業就業者数の動向

【産業別就業人口のうち農業就業人口は減少傾向にある。】

関係市町の全就業人口に占める産業別就業人口の割合構成は、第3次産業が最も大きく、平成22年度で72.0%、令和2年度で75.3%と増加している。農業は、縮小傾向にある[図3]。

関係市町における全就業者数に占める農業就業者数の割合は、平成22年度の4.3% (6,123人)から令和2年度の3.6% (5,092人)になり0.7ポイント減少しており、茨城県も同様に平成22年度の5.7%から令和2年の4.9%へと0.8ポイント減少している[図4、表2]。

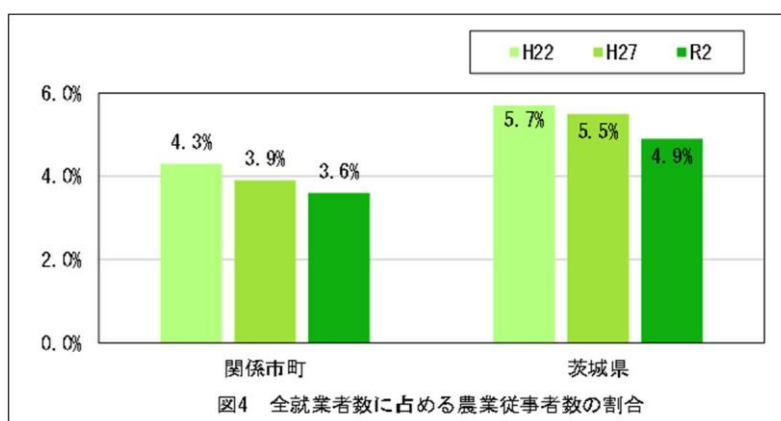
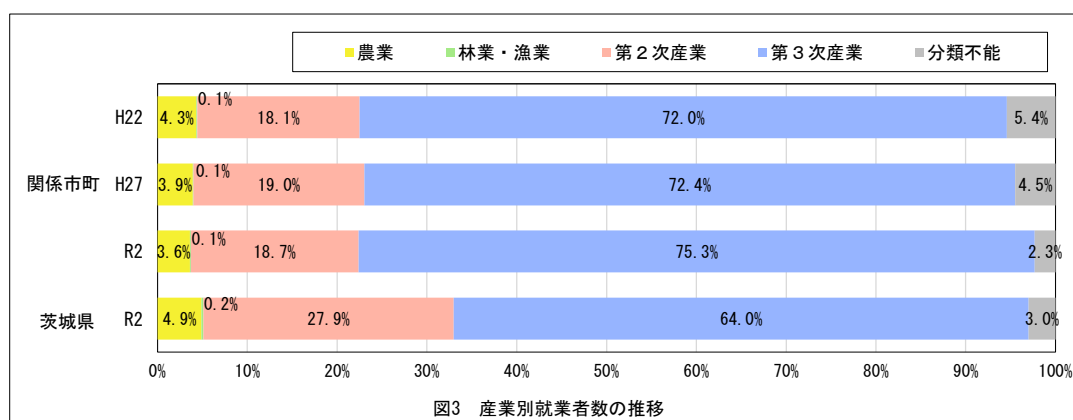


表2 関係市町の産業別就業者数

	H22	H27	R2	H22からR2の増減
第1次産業	6,290 (4.4%)	5,781 (4.0%)	5,264 (3.7%)	△ 1,026
うち農業就業者	6,123 (4.3%)	5,619 (3.9%)	5,092 (3.6%)	△ 1,031
第2次産業	25,791 (18.1%)	27,469 (19.0%)	26,794 (18.7%)	1,003
第3次産業	102,554 (72.1%)	104,619 (72.5%)	107,767 (75.3%)	5,213
分類不能	7,717 (5.4%)	6,570 (4.5%)	3,281 (2.3%)	△ 4,436
合計	142,352 (100.0%)	144,439 (100.0%)	143,106 (100.0%)	754

(単位:人)

図3、図4、表2: 国勢調査より

(3) 農業経営体数の推移

【関係市町の個人経営体数は減少傾向にある一方で、団体経営体(法人)数は増加している。】

関係市町の農業経営体数は、平成22年度の5,309経営体から令和2年度の3,544経営体へと1,765経営体(33.2%)減少している[図5]。

個人経営体数は、農業経営体数と同様に減少傾向である[図6-1]。

団体経営体(法人)数は増加傾向にある一方で、団体経営体(非法人)数は横ばい傾向にある[図6-2]。

農業経営体数の増減率を茨城県全体と比較すると、農業経営体数及び個人経営体数は県平均と同様の減少率であるが、団体経営体(法人)数の増加率は県全体より大幅に大きく、団体経営体(非法人)数も若干増加している[図7]。

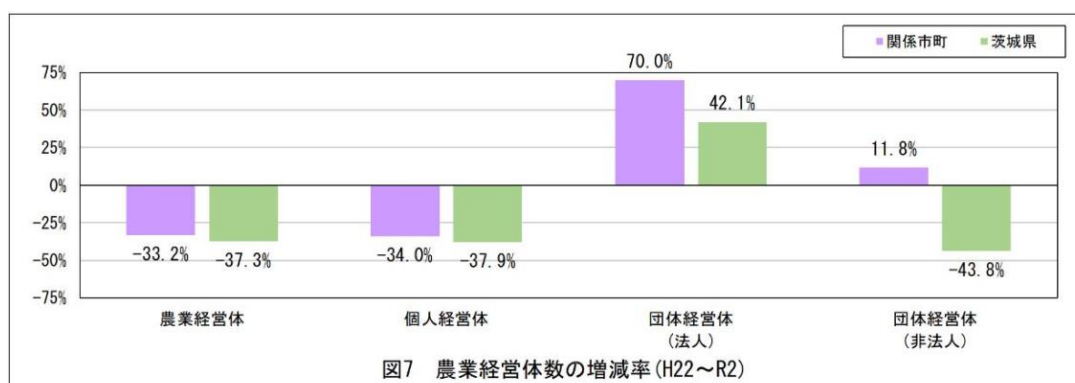
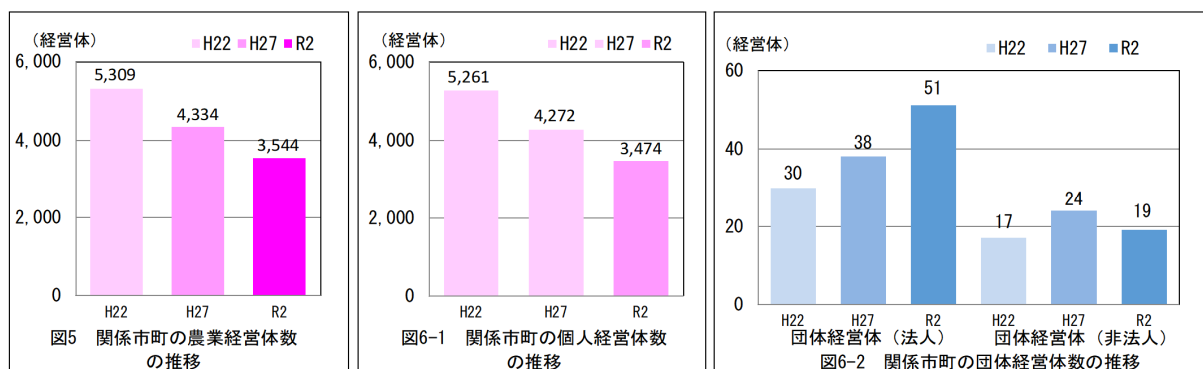


図5、図6、図7: 農林業センサスより

(4) 認定農業者数の推移

【認定農業者数は増加傾向にある。】

関係市町の認定農業者数は、平成28年度から令和6年度までに65経営体(14.8%)増加している。このうち法人数は44法人から50法人へと、6法人(13.6%)増加しており、令和6年度では、認定農業者のうち約1割が法人である。[図8-1、図8-2]

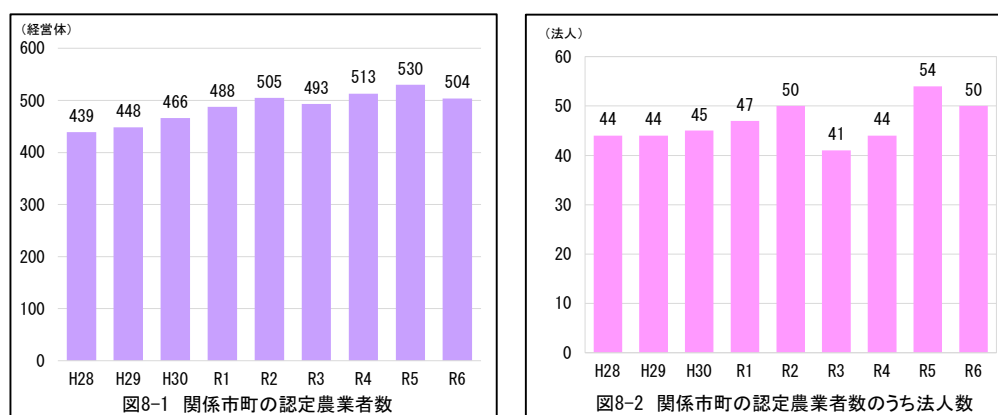


図8: 関東農政局経営・事業支援部担い手育成課調べ

(5) 経営耕地面積の推移

【関係市町における経営耕地の地目別構成割合は、茨城県全体と比べ田の割合が大きく、田が68.7%、畑が26.9%、樹園地が4.4%となっている。】

【関係市町の経営耕地面積は茨城県と同様に減少傾向にある。】

関係市町の令和2年度における経営耕地の地目構成は、田68.7%、畑26.9%、樹園地4.4%であり、茨城県全体のそれぞれ64.5%、32.4%、3.1%と同様に、田の割合が大きい構成であり、県全体よりも田の割合が大きい[図9]。

関係市町の経営耕地面積は、平成22年の8,453ha から令和2年の7,113ha へと1,340ha (15.9%)減少しており、茨城県の減少率14.8%とほぼ同程度である[図9、図10]。

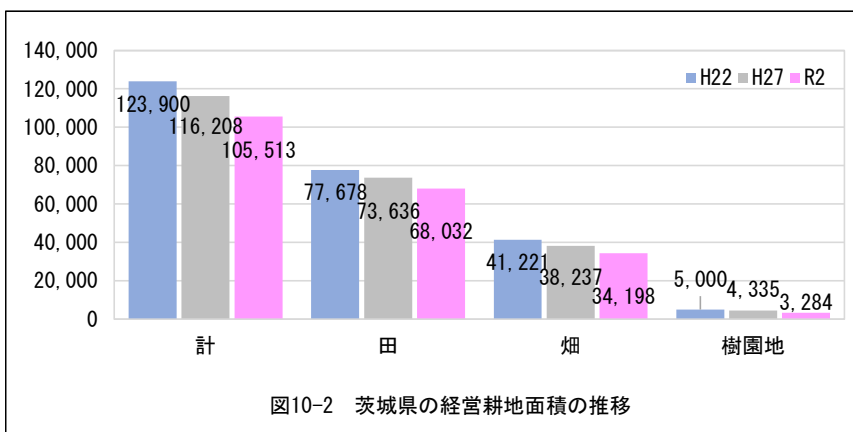
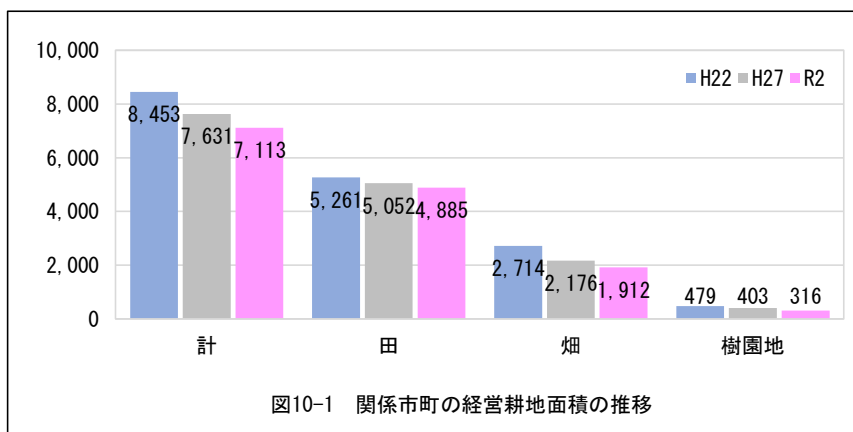
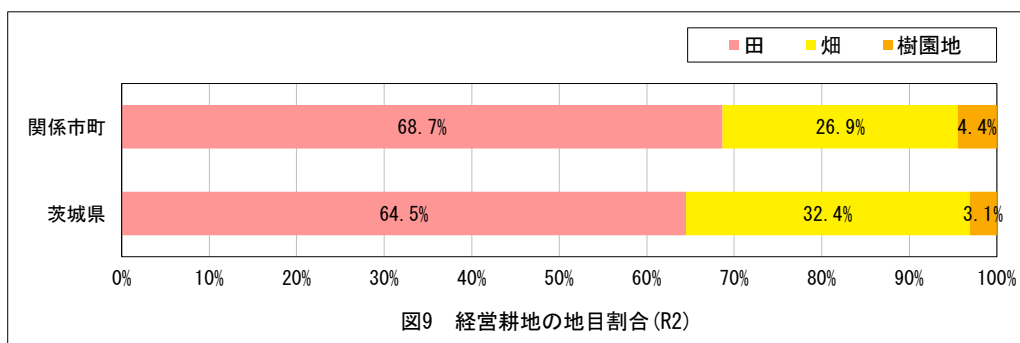


図9、図10：農林業センサスより

(6) 経営体当たり経営耕地面積の推移

【関係市町では、経営体の面積規模拡大が進んでいる。】

関係市町の1経営体当たりの耕地面積は、平成22年度の1.6haから令和2年度の2.0haへと拡大しており、茨城県(平成22年度:1.8ha、令和2年度:2.3ha)と同様、経営体の面積規模拡大が進んでいる[図11、図12]。

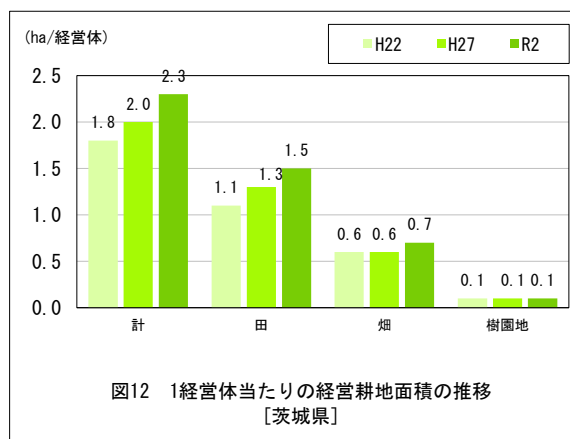
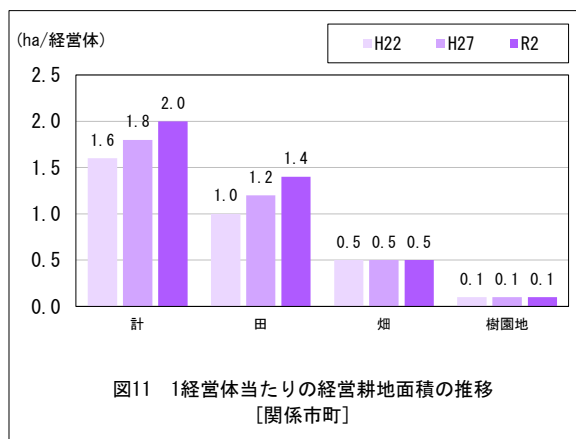


図11、図12: 農林業センサスより

(7) 経営耕地面積規模別面積割合の推移

【経営耕地面積規模の大きな経営体の耕地面積が占める割合が拡大している。】

関係市町では、5.0ha未満の規模では減少、5.0ha以上では増加となっている。この傾向は茨城県も同様である。

関係市町の5.0ha以上の経営耕地面積規模の経営体の耕地面積が占める割合のうち、5.0～10.0haの経営耕地は令和2年度には13.5%となっており、茨城県の13.8%と同程度であるが、10.0ha以上は、27.8%と茨城県の35.4%より低い。また、1.0ha未満の経営体の耕地面積の割合は、令和2年度には13.7%(0.4%+2.9%+10.4%)まで縮小しており、茨城県全体の10.8%(0.2%+2.3%+8.3%)と差が大きい[図13]。

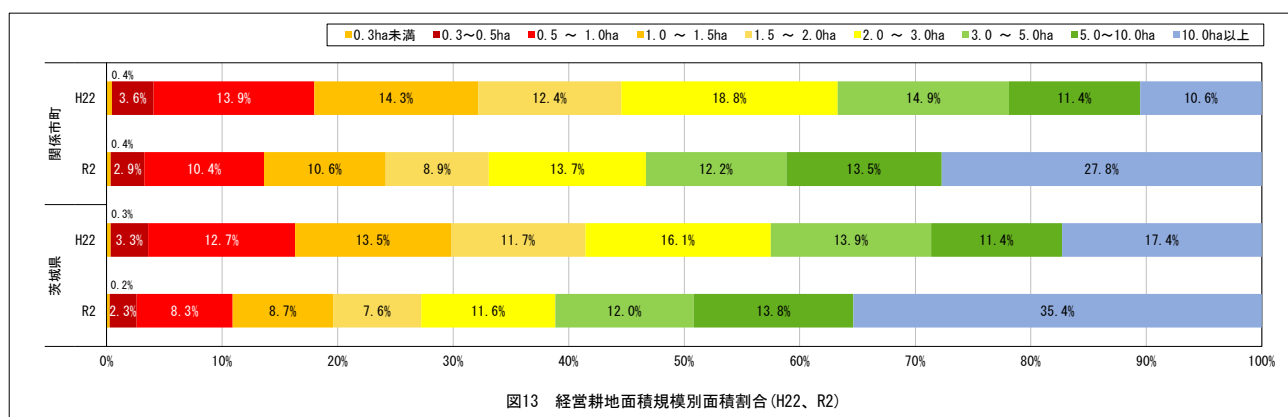


図13: 農林業センサスより

(8) 経営耕地面積規模別経営体数の推移

【関係市町では、10.0ha以上の経営体が増加し、規模拡大が進んでいる。】

経営耕地面積規模別では、関係市町の5.0ha以上の大規模経営体は、平成22年度の3.8%(2.7%+1.1%)から令和2年度には7.1%(4.0%+3.1%)と増加している[図14]。

茨城県全体では、令和2年度に0.5ha未満の経営体が16.9%(2.5%+14.4%)、5.0ha以上の経営体は8.4%(4.8%+3.6%)であるのに対し、関係市町では、0.5ha未満の経営体は17.1%(1.9%+15.2%)、一方で5.0ha以上の経営体は7.1%(4.0%+3.1%)を占めている[図14]。

関係市町の5.0～10.0haの経営体はあまり変化がないが、10.0ha以上の経営体は、平成22年度からの10年間で88%(58経営体→109経営体)の増加と、茨城県全体の61%(1,011経営体→1,625ha)の増加よりも増加率が高く、地域農業を担う経営体の規模拡大が進んでいることがうかがえる[表3]。

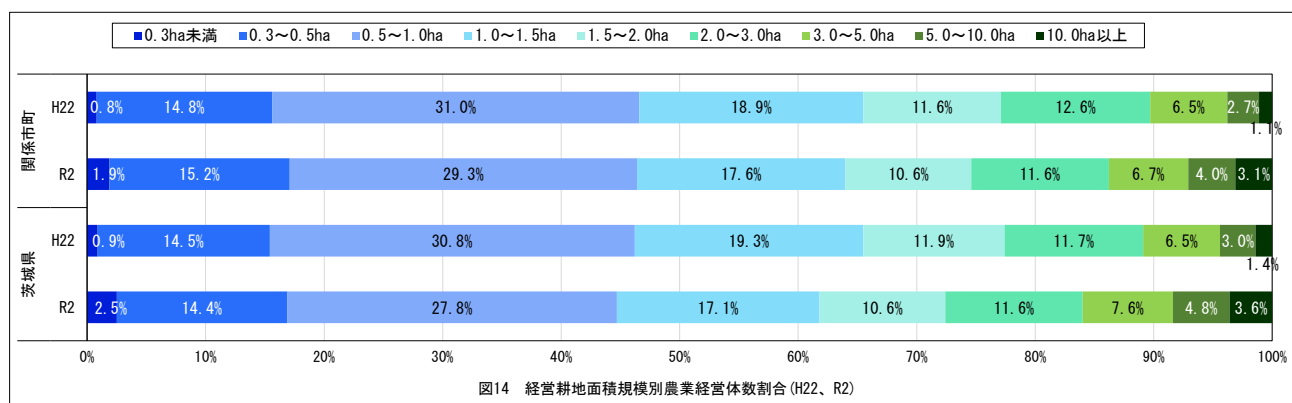


表3 経営耕地面積規模別経営体数の推移

項目	(単位:経営体)									計
	0.3ha未満	0.3～0.5ha	0.5～1.0ha	1.0～1.5ha	1.5～2.0ha	2.0～3.0ha	3.0～5.0ha	5.0～10.0ha	10.0ha以上	
関係市町(H22)	42	785	1,648	1,003	616	668	345	144	58	5,309
関係市町(H27)	44	679	1,307	803	480	485	297	153	86	4,334
関係市町(R2)	67	538	1,040	626	377	410	237	140	109	3,544
茨城県(H22)	657	10,360	22,035	13,854	8,478	8,373	4,655	2,119	1,011	71,542
茨城県(H27)	679	8,375	17,131	10,644	6,719	6,625	4,195	2,316	1,305	57,989
茨城県(R2)	1,125	6,445	12,477	7,657	4,752	5,187	3,414	2,170	1,625	44,852

図14、表3:農林業センサスより

(9) 農業産出額の推移

【関係市町の農業産出額は横ばいで推移しており、類別農業産出額は野菜、米の順で大きい。】

関係市町の農業産出額は、平成28年度の319億円から令和5年度には294億円へと25億円(7.8%)減少しており、茨城県の減少率(7.5%:4,903億円から4,536億円へと367億円減少)と同程度であるが、横ばいで推移している[図15-1、図15-2]。

類別の農業産出額をみると、令和5年度の農業産出額は野菜、米、鶏の順で大きく、基幹作物である米は53億円である。野菜、鶏、花き及び果実は、平成28年度から令和元年にかけて減少しているが、令和元年以降はやや増加傾向にある。一方で、肉用牛、豚及び麦類は平成28年度から令和5年度にかけて緩やかに増加している[図16-1、図16-2]。

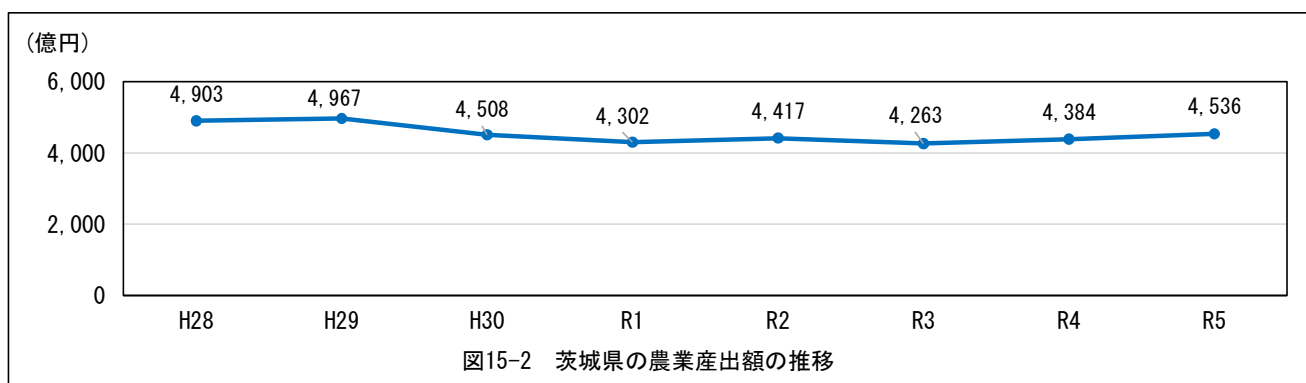
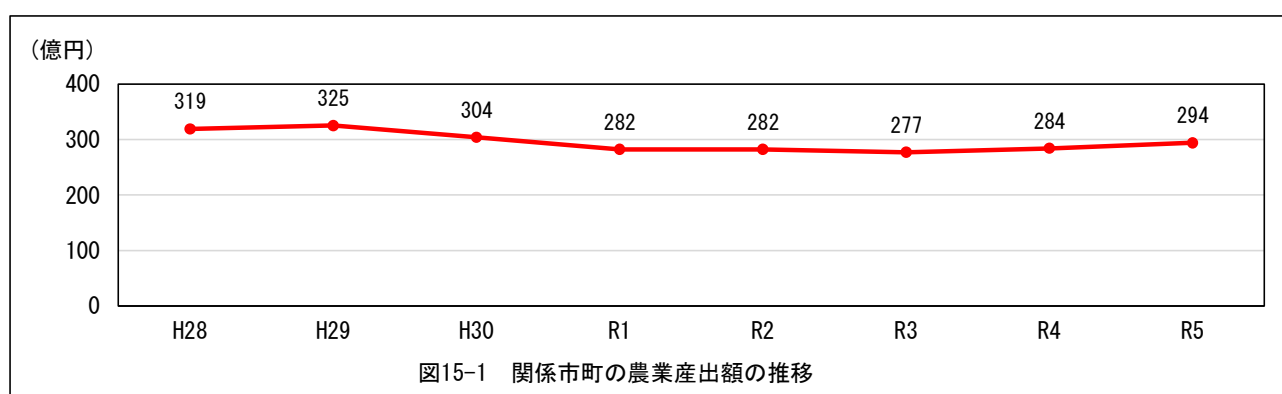


図15:茨城県農林水産統計年報、生産農業所得統計、市町村別農業産出額(推計)より

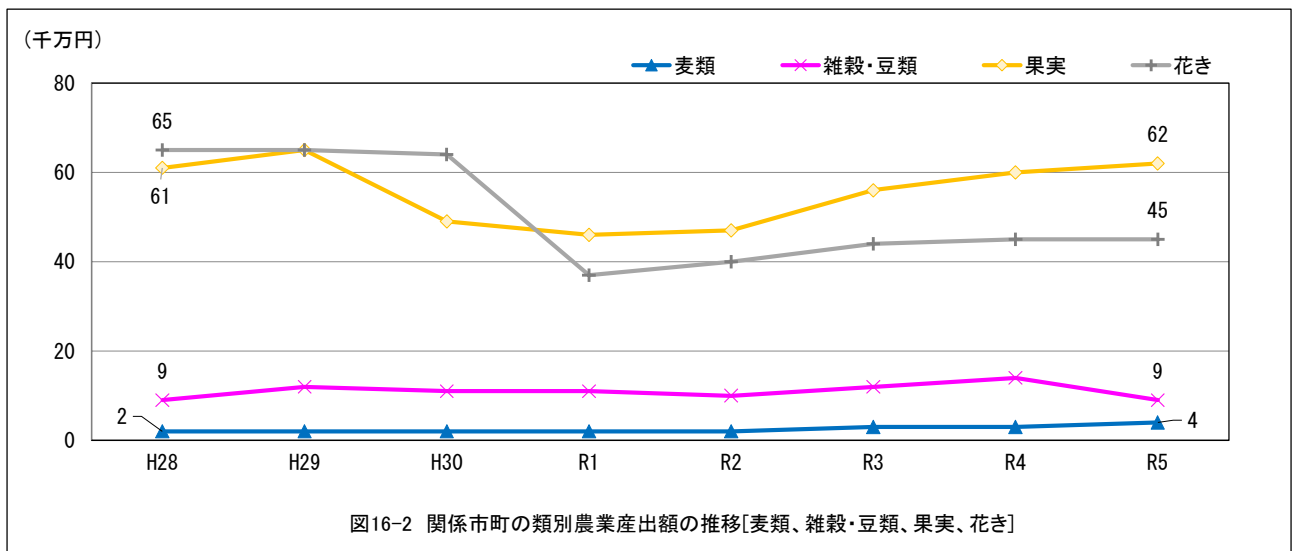
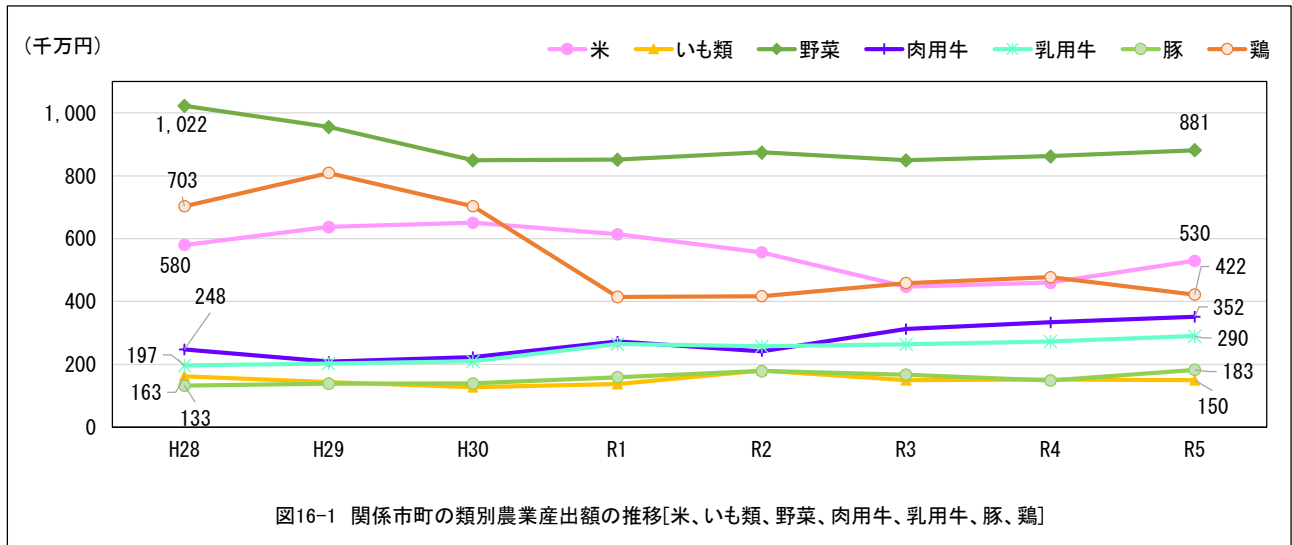


図16:茨城県農林水産統計年報、生産農業所得統計、
市町村別農業産出額(推計)より

(10) 地区内における担い手農家の紹介

【経営の概要】

すずき まさかつ

氏 名:鈴木 将一 氏

主要作物:水稻(主食用米・もち米)、小麦、大豆、ぶどう等

作付面積:14.0ha

(主食用米 10.0ha、もち米 1.0ha、作業委託 3.0ha)

労働力:本人、長男、パート2名



【営農者概要】

- ① 事業実施前(平成27年度)は、小区画ほ場で水稻を主体に7haを耕作していたが、ほ場整備を契機とした農地集積により経営耕地面積を14haに拡大。
- ② ほ場の大区画化に合わせて、GPS機能付き8条田植機を導入。これにより、事業実施前は10日ほどかかっていた代掻き・田植え作業が4日に短縮。また、収穫作業についても6条刈コンバインに切り替えた(事業実施前は4条刈)結果、作業時間が半減。
- ③ ほ場整備により、省力化された余剰労働力を活用して、3棟ある育苗ハウスのうち水稻の密苗栽培で空いた2棟でブドウを栽培中。
- ④ 事業をきっかけに集落のもち米栽培を一括して引き受け、一部を餅に加工して一般向けに販売。

6. 事業の重要な部分の変更の必要性の有無

現時点までの受益面積、主要工事計画及び事業費の変動について、確認した結果は以下のとおりであり、事業計画の変更が必要な変動は生じていない。

(1) 事業の施行に係る地域（受益面積及び事業目的別面積）

「受益面積」

受益面積は、事業計画時点（以下、「現計画」とする。）の652haであり、現況（令和7年3月現在）の652haから変動はなく変更はない。

《事業計画変更の判断基準》

事業計画の変更要件(国営土地改良事業計画変更取扱要領 H31.4.1最終改正)に示されている『受益面積の増又は減5%以上(但し10ha以上)』に該当する場合、事業計画の変更が必要となる。

《本地区の状況》

受益面積の増減なし… 「該当しない」

「事業目的別面積」

本地区の現計画時点の事業目的は、「区画整理」であり、現計画の652ha から変更はない。

《事業計画変更の判断基準》

事業計画の変更要件(国営土地改良事業計画変更取扱要領 H31.4.1最終改正)に示されている『事業目的別面積又は利用区分面積の増又は減10%以上、及びその位置が著しく変動(但し30ha以上)』に該当する場合、事業計画の変更が必要となる。

《本地区の状況》

「区画整理」 事業目的別面積の増減なし … 「該当しない」

(2) 主要工事計画

本地区の主要工事計画は、現計画から変更はない。

《事業計画変更の判断基準》

事業計画の変更要件(国営土地改良事業計画変更取扱要領 H31.4.1最終改正)に示されている『主要工事の追加若しくは廃止その他著しい変更』に該当する場合、事業計画の変更が必要となる。

《本地区の状況》

主要工事の追加若しくは廃止その他の著しい変更なし… 「該当しない」

(3) 総事業費

国営事業費は、現計画時点で25,200百万円(営繕、宿舍費、工事諸費を除くと22,340百万円)であり、現況の25,200百万円(営繕、宿舍費、工事諸費を除くと22,340百万円)から変動はない。

《事業計画変更の判断基準》

事業計画の変更要件(国営土地改良事業計画変更取扱要領 H31.4.1最終改正)に示されている『10%の変動(労賃又は物価変動による事業費を除く)』に該当する場合、事業計画の変更が必要となる。

《本地区の状況》

当該事業費の増減なし… 該当しない

7. 費用対効果分析の基礎となる要因の変化

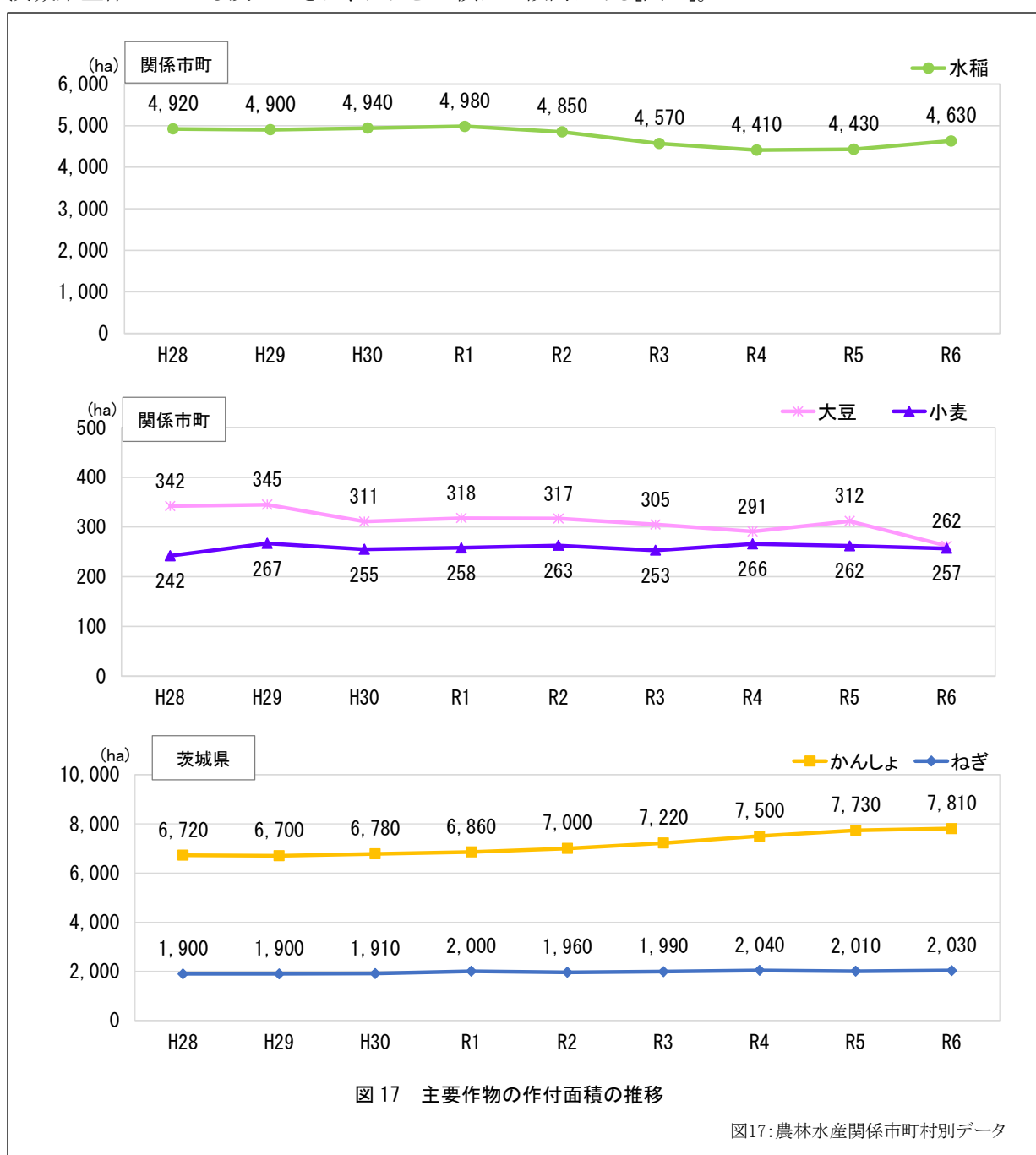
(1) 地域農業振興の方向性

費用対効果分析の算定基礎となる、県及び関係市町の農業振興の基本方針は、農業者の減少や経営耕地面積の減少に伴い、近年見直しが行われているが、引き続き農業振興を積極的に推進していく方向性に変化はなく、営農計画等の大幅な変更の必要性も生じていない。

(2) 主要作物の作付面積の推移

水稻は、耕地面積の減少に伴い作付面積も減少傾向にあり、特に令和2年以降の減少が顕著であるが、令和5年から増加している。また、大豆及び小麦は、おおむね横ばい傾向にある[図17]。

茨城県全体のかんしょ及びねぎは、おおむね横ばい傾向にある[図17]。



(3) 主要作物の単収の推移

水稻、小麦及び大豆は、多少の増減はあるものの、おおむね横ばいで推移している[図18-1]。

かんしょ(生食)、ねぎは単一データであるが、他出典の参考データからは、安定的に推移していることがうかがえる[図18-1、図18-2]。

かんしょ(加工)も平成13年から平成22年は若干増加しているが、他出典の参考データからは、安定的に推移している[図18-2]。

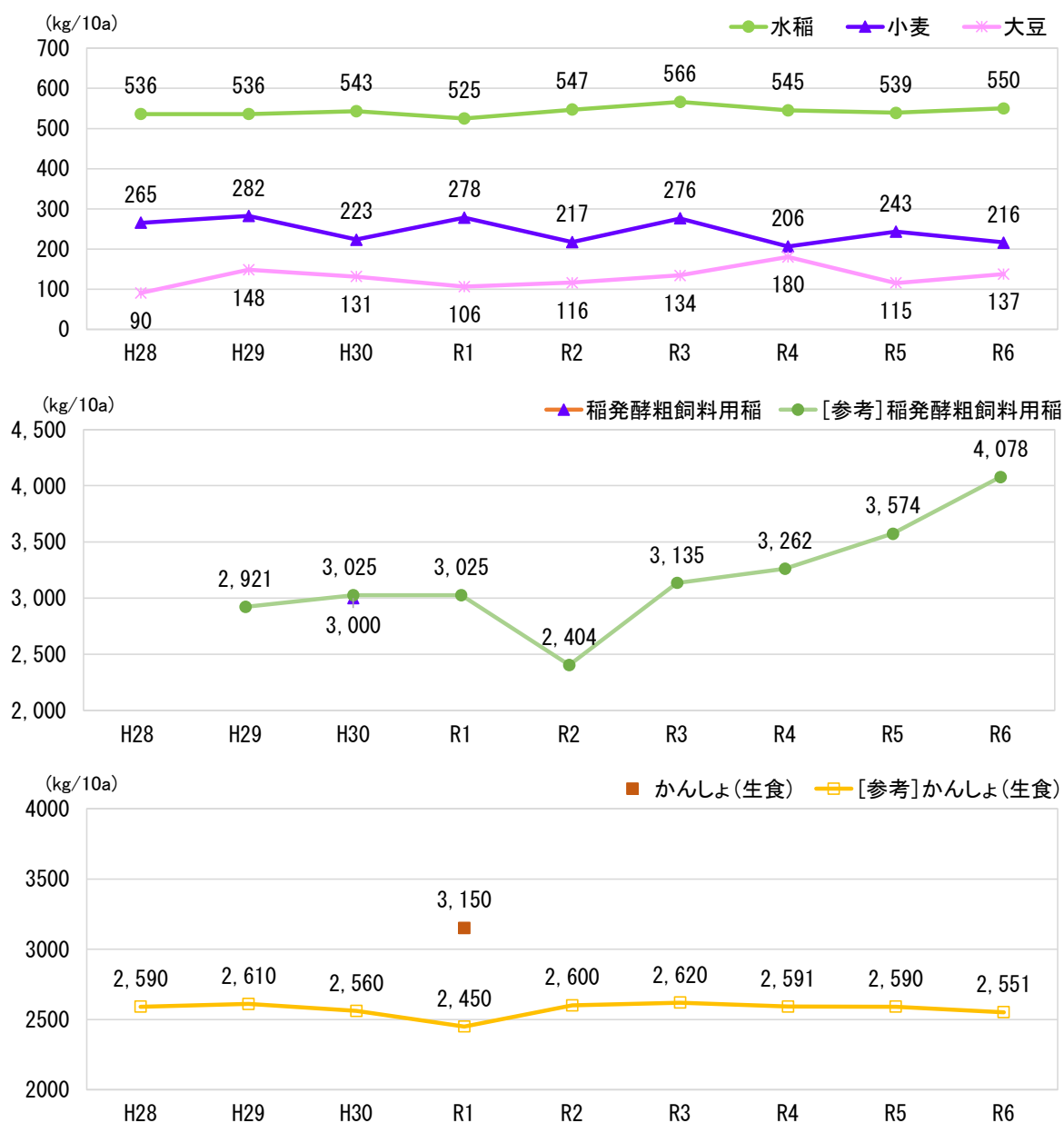


図18-1：主要作物の単収の推移

図18-1: 水稻・小麦・大豆「農林水産関係市町村別データ」関係市町の平均

稲発酵粗飼料用稲「茨城県 主要作目・作型別経営指標 H30」([参考]は茨城町農業公社データ)

かんしょ(生食)「営農計画管理調査(茨城中部地区、R1)(参考は「作物統計調査」茨城県全体)

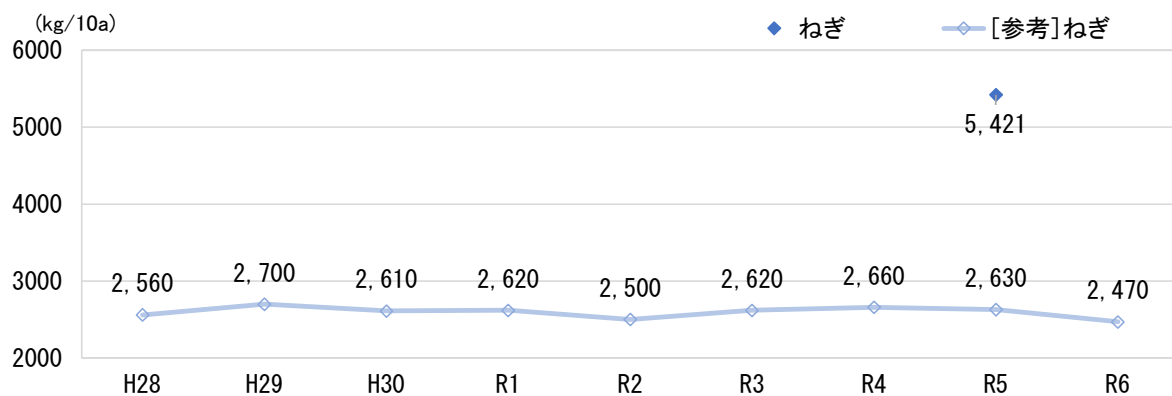
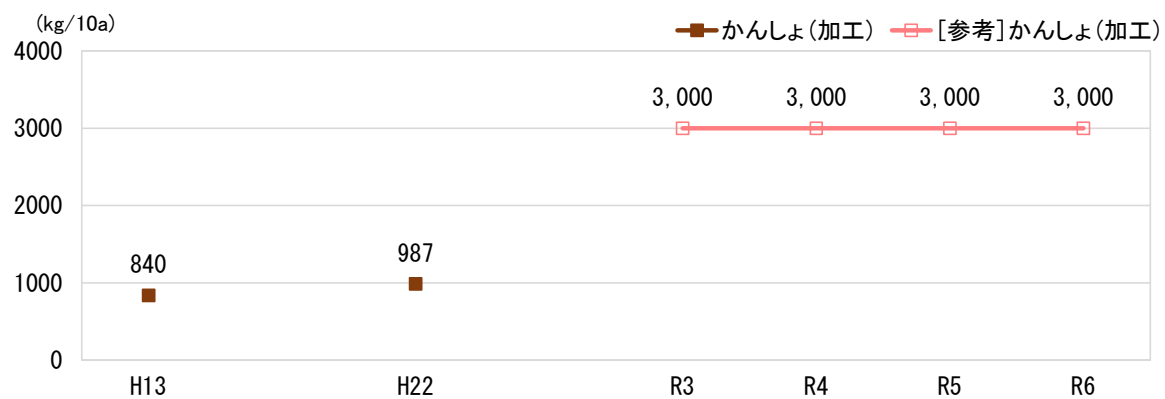


図18-2：主要作物の単収の推移

図18-2:かんしょ(加工)「那珂川沿岸営農モデル実証圃成績(H13,H20年) (茨城中部地区、R1) (参考は JA 聞き取り)
ねぎ「営農計画管理地区調査」(参考は「作物統計調査」茨城県全体)

(4) 主要作物の単価の推移

水稻は令和2年から低下傾向にあったものの、令和5年以降上昇に転じている[図19-1]。

加工用米、大豆、小麦はほぼ横ばいで推移している[図19-1]。

飼料用米及びかんしょ(加工)は単一データであるが、他出典の参考データからは、安定的に推移していることがうかがえる[図19-1、図19-2]。

ねぎの単価は令和2年に一旦上昇しているが、令和3年に低下し、その後上昇している[図19-2]。

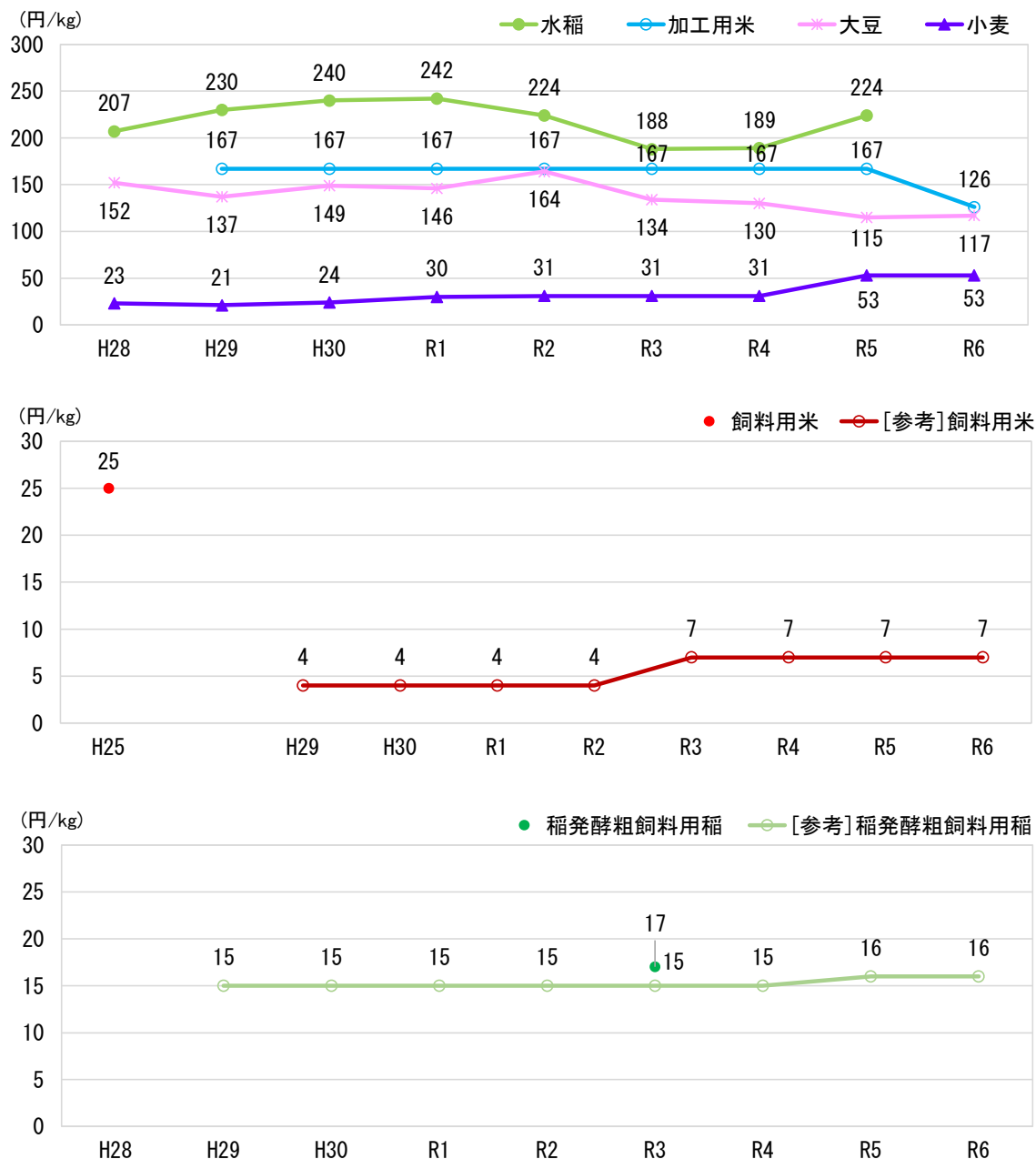


図19-1：主要作物の単価の推移

図19-1: 水稻「米の相対取引価格」から手数料を差し引いたもの
 大豆「大豆入札取引の結果」から手数料を差し引いたもの
 小麦「民間流通麦に係る入札結果」から手数料を差し引いたもの
 加工用米「農家開取り」
 飼料用米「(公社)茨城県畜産協会資料」(参考は JA 水戸開き取り)
 稲発酵粗飼料用稲「農家開取り」(参考は茨城町農業公社データ)

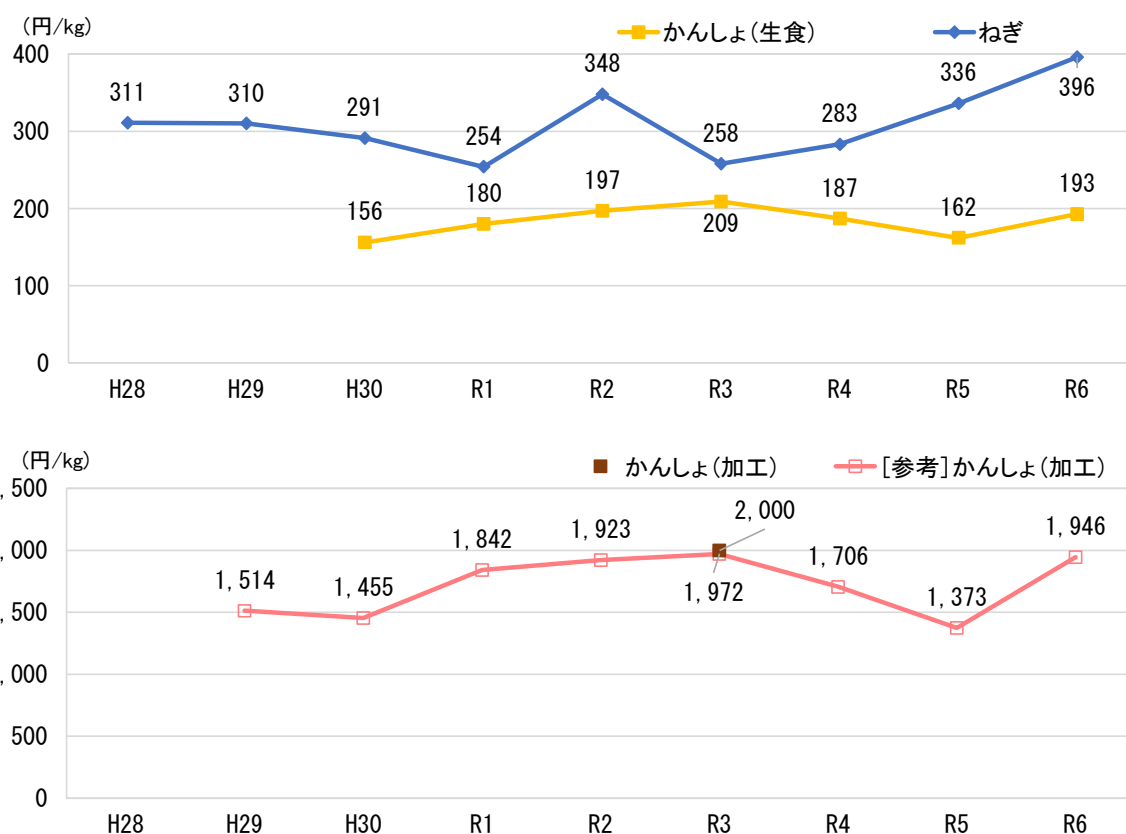


図19-2：主要作物の単価の推移

図19-2:かんしょ(生食)「水戸公設卸売市場統計年報」

かんしょ(加工)「営農計画管理による調査結果(茨城中部地区)(参考は東京中央卸売市場 全市場)

ねぎ「東京都中央卸売市場における茨城県産の価格」

8. 費用対効果分析の結果

費用対効果分析については、総費用総便益比方式により算定しており、本再評価時点における算定結果は、下表のとおり。

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	40,264,016
当該事業による整備費用	②	28,048,165
その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	③	12,215,851
評価期間(当該事業の工事期間+40年)	④	58
総便益額(現在価値化)	⑤	45,710,749
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.13

(現計画時点からの効果の主な変動要因)

- ・効果算定に用いる諸係数(純益率)の見直しによる作物生産効果(水稻)の増加純益額増。
- ・効果算定に用いる諸係数(支出済み費用換算係数等)の定期的な見直しに伴う効果額の増減。

(2) 年総効果額、総便益額の総括

(単位：千円)

区 分 効 果 項 目	年総効果 (便益) 額	総便益額	効 果 の 要 因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果	598, 857	19, 074, 480	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果	1, 102, 880	23, 066, 317	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果	△44, 314	△1, 421, 718	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果			
耕作放棄防止効果	9, 216	191, 556	区画整理を実施したことにより、耕作放棄の発生が防止され、農産物の生産が維持される効果
農村の振興に関する効果			
非農用地等創設効果	179	3, 945	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での用地取得及び登記手続き等の事務経費が節減する効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果	105, 535	3, 471, 582	区画整理により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
洪水調節機能効果	1, 788	51, 745	農業用ダムにおいて洪水調節機能の維持・向上のための施設を整備することにより、運用過程において流域全体における一部の洪水流量をカットする機能により、洪水被害が防止又は軽減される効果
水田貯留機能向上効果	66, 242	1, 272, 842	水田貯留機能の向上に向けた取組に必要な施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での当該地域や下流域の洪水被害が防止又は軽減される効果
合 計	1, 840, 383	45, 710, 749	

※総便益の算定の詳細については「茨城中部地区の事業の効用に関する詳細」を参照

9. 環境との調和への配慮

◆地域環境の概況

本地区は、茨城県中部に位置し、一級河川那珂川水系那珂川及び同水系湊沼川沿いに位置する水田地帯であり、平野部に広がる水田により田園景観が形成されている。

また、地域の一部は、水戸市景観計画により景観区域に指定されているとともに、優れた自然の風景地として大洗県立自然公園に指定されている。地区内の農地及びその周辺では、※ミナミメダカ、トウキョウダルマガエル等多くの生物の生息、生育が確認されている。

農用地の整備においては、農地及びその周辺に生息する両生類の移動経路や魚類の生息環境に配慮した整備を行い、生態系等に配慮することとされている。

※ トウキョウダルマガエル = 準絶滅危惧 (NT) 環境省レッドリスト (2025)
ミナミメダカ = 準絶滅危惧種 茨城県レッドリスト (2016)



那珂川（水戸市内）



湊沼（親沢の鼻）



ミナミメダカ



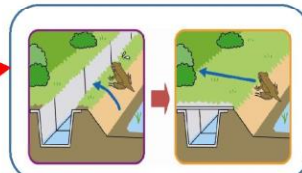
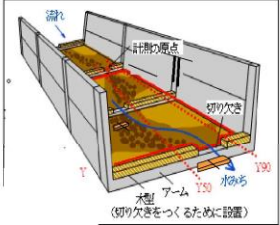
トウキョウダルマガエル

◆環境配慮の概要

本事業の実施においては、関係市町の田園環境整備マスタープラン等との整合を図り、生態系や景観との調和に配慮する。

具体的には、農用地の整備に当たっては、農地及びその周辺に生息する両生類の移動経路や魚類の生息環境に配慮した整備を行う。

また、工事实施の際は、周辺環境への影響を軽減するため、騒音振動対策を行うとともに、濁水流出防止に努める。

蓋掛け(ふたかけ)	瀬淵工(せぶちこう)
両生類等の移動経路を維持・確保   水路に蓋を掛け、土を被せてカエル類が移動しやすいようにする。	水の流れに変化を持たせ土砂が堆積する部分を創出し、魚類等の生息域を確保  

◆生きもの調査の実施

ふなどうえいじ

当事業所では、船渡東永寺団地の工事实施前に、工事エリア内の用排水路に生息している生き物を移動させるため、「東永寺子ども会」と事業所職員により「生きもの調査」を実施している。

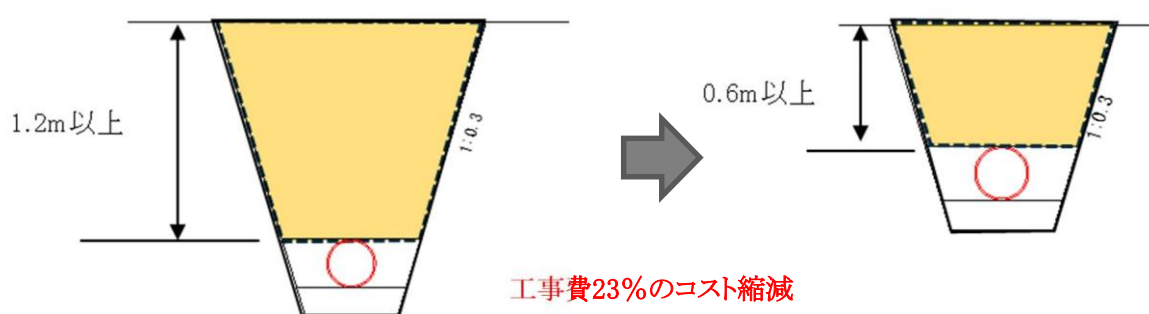


10. 事業コスト削減等の取組

本地区では、以下のような工事費削減の取組を行っており、今後実施予定の工事についても、積極的にあらゆるプロセスでコスト削減に努めることとする。

(1) 用水路の浅埋設

区画整理で造成する道路下に埋設する用水路(パイプライン)において、道路管理者との協議により、直径300mm以下の小口径管の埋設深さを0.6m以上(事業計画では認定道路下あて1.2m以上)の浅埋設とすることにより、土工(掘削、埋戻し)に係る工事費23%のコスト削減を図っている。



埋設深1.2m 以上の場合

43,000円/m(工事費)

埋設深0.6m 以上の場合

33,000円/m(工事費)

浅埋設可能な用水路延長	コスト削減額
約6,000m	60,000千円

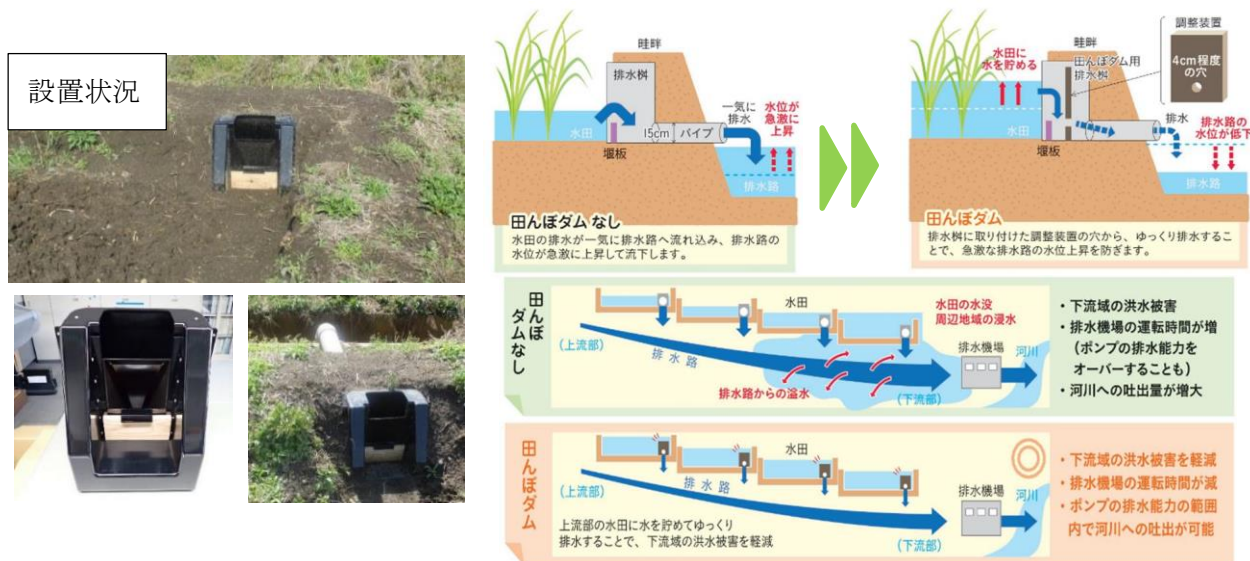
11. その他

(1) 田んぼダムを取組

農業の多面的機能の促進を図る観点から、水田の貯留機能向上に向けた取組を行っている。

本地区では、水田の落水口に流出量を抑制するための調整板(小さな穴の開いた堰板等)を取り付け、大雨の際に雨水を水田に一時的に貯留し、時間をかけてゆっくり下流に流す「田んぼダム」の取組を行っており、洪水被害の防止・軽減に寄与している。

地区内では、令和7年度末までに300ha において設置済みであり、引き続き導入を推進していく。



(2) 担い手への農地利用集積

本事業で区画整理による農地の大区画化・汎用化等を進めるとともに、事業効果を最大化するためには、農地中間管理機構や関係機関と連携し、一層の担い手への農地集積・集約を図り、生産効率を高める必要がある。

○ 担い手農地利用集積計画(総括表)

現 況 (平成 28 年度)			目 標 年 度 (令和 15 年度)		
農地面積	担い手への 利用集積面積	担い手への 利用集積率	農地面積	担い手への 利用集積面積	担い手への 利用集積率
A	B	C=B/A	D	E	F=E/D
686.5ha	124.4ha	18.1%	651.6ha	598.4ha	91.8%

茨城中部地区の事業の効用に関する説明資料

1. 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算定式	数 値
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	40,264,016
当該事業による費用	②	28,048,165
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	12,215,851
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	58年
総便益額（現在価値化）	⑤	45,710,749
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.13

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	資産価額 （事業着工 時点） ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業に よる費用 ③	再整備費 ④	資産価額 （評価期間 終了時点） ⑤	総費用 ⑥＝①＋②＋ ③＋④－⑤
国営造成施設	906,860	28,048,165	4,420,829	5,447,750	1,343,826	37,479,778
県営造成施設	282,825	－	1,287,141	498,364	93,508	1,974,822
その他の施設	428,352	－	518	433,746	53,200	809,416
合 計	1,618,037	28,048,165	5,708,488	6,379,860	1,490,534	40,264,016

※各造成施設の詳細については「茨城中部地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3) 年総効果額、総便益額の総括

(単位：千円)

効果項目	区 分	年総効果 （便益）額	総便益額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果				
作物生産効果		598,857	19,074,480	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		1,102,880	23,066,317	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△44,314	△1,421,718	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果				
耕作放棄防止効果		9,216	191,556	区画整理を実施したことにより、耕作放棄の発生が防止され、農産物の生産が維持される効果
農村の振興に関する効果				
非農用地等創設効果		179	3,945	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での用地取得及び登記手続き等の事務経費が節減する効果
その他の効果				

洪水調節機能効果（農業用ダム）	1,788	51,745	農業用ダムにおいて洪水調節機能の維持・向上のための施設を整備することにより、運用過程において流域全体における一部の洪水流量をカットする機能により、洪水被害が防止又は軽減される効果
水田貯留機能向上効果	66,242	1,272,842	水田貯留機能の向上に向けた取組に必要な施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での当該地域や下流域の洪水被害が防止又は軽減される効果
国産農産物安定供給効果	105,535	3,471,582	区画整理により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計	1,840,383	45,710,749	

※総便益の算定の詳細については「茨城中部地区の事業の効用に関する詳細」を参照

2. 年効果額の算定方法

（１）作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

茨城中部地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^{\ast 1} + \text{作付増減年効果額}^{\ast 2}$$

$$\ast 1 \quad \text{単収増加年効果額} = \text{作付面積} \times (\text{事業ありせば単収} - \text{事業なかりせば単収}) \times \text{単価} \times \text{単収増加の純益率}$$

$$\ast 2 \quad \text{作付増減年効果額} = (\text{事業ありせば作付面積} - \text{事業なかりせば作付面積}) \times \text{単収} \times \text{単価} \times \text{作付増減の純益率}$$

○年効果額の算定

（単位：千円）

区 分	作付面積（ha）		増加粗収益額	年効果額
	現況	計画		
新設整備	694	731	244,637	114,809
更新整備	694	694	543,705	484,048
合 計			788,342	598,857

※作物生産効果における作物毎の詳細については「茨城中部地区の事業の効用に関する詳細」を参

照

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

- ・作付面積：各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」・関係市(町村)の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」・新設整備では、関係市町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単収：増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については以下のとおり
「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
・更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
「事業ありせば単収」・新設整備では計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
・更新整備では現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価：農林水産統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純益率：「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

茨城中部地区の事業の効用に関する詳細のとおり

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当り営農経費 - 事業ありせば単位面積当り営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	事業なかりせば①	事業ありせば②	年効果額 ③＝①－②
新設整備	現況営農経費	計画営農経費	1,092,490
更新整備	事業なかりせば営農経費	現況営農経費	10,390
合 計			1,102,880

※営農経費節減効果における作物毎の営農経費の詳細については「茨城中部地区の事業の効用に

関する詳細」を参照

- ・各作物の ha 当たり営農経費は以下のとおり
 - ・現況営農経費：地域の現在の営農経費であり、生産費調査等の実態調査に基づき算定した。
 - ・計画営農経費：想定される事業により増減した地域の営農経費であり、茨城県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
 - ・事業なかりせば営農経費：地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

総費用に計上した、当該事業（関連事業）及び受益地内で一体的に効用を発揮している全ての土地改良施設

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば維持管理費 - 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③=①-②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
新設整備		59,647	67,535	△7,888
更新整備		23,221	59,647	△36,426
合 計				△44,314

- ・事業なかりせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) 耕作放棄防止効果

○効果の考え方

事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）に耕作放棄の発生が想定される農地が有している作物生産量をもって年効果額を算定した。

○対象工種

区画整理

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば発生が想定される耕作放棄地が有している作物生産の総効果額
× 還元率

○年効果額の算定

(単位：千円)

区 分	総効果額 ①	割引率	効果算定期間 (年)	還元率 ②	年効果額 ③=①×②
新設整備	206,639	0.04	58	0.0446	9,216

- ・総効果額：単位面積当たり効果額を基に、各年の事業なかりせば発生する耕作放棄面積を乗じた年別効果額に割引率を適用して算定した割引後の年別効果額を総計して算定した。
- ・還元率：総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数。

(5) 非農用地等創設効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、農地調達経費の差をもって年効果額を算定した。

○対象施設

区画整理

○年効果額算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位当たりの想定経費 - 事業ありせば単位当たりの計画経費) × 非農用地創設面積 × 還元率

○年効果額の算定

(単位：千円)

非農用地区分	事業なかりせば 想定経費 ①	事業ありせば 計画経費 ②	差引経費 ③=①-②	還元率 ④	年効果額 ⑤=③×④
道路用地	7,032	2,636	4,396	0.0408	179

(7) その他の効果（洪水調節機能効果（農業用ダム））

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、農業用ダムにおいて洪水調節可能容量が確保されることにより洪水被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象施設

関連事業により整備した農業用ダム

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = (\text{事業ありせば洪水調節可能容量} - \text{事業なかりせば洪水調節可能容量}) \times \text{洪水調節単価} \times \text{還元率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	洪水調節可能容量 (千 m^3)			洪水調節 単価 (円/ m^3) ③	還元率 ④	年効果額 ⑤ = (① - ②) × ③ × ④
	新設	事業 ありせば①	現況②			
	更新	現況①	事業なかり せば②			
新設整備		24.24	—	1,765	0.0418	1,788
更新整備		—	—	—	—	—
合 計						1,788

- ・洪水調節可能容量：農業用ダムのかんがいに係る用途のうちの流域における洪水被害を防止又は軽減するための容量
- ・洪水調節単価：近傍治水ダム等の建設費と洪水調節容量により算定
- ・還元率：施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数

(8) その他の効果 (水田貯留機能向上効果)

○効果の考え方

事業を実施した場合 (事業ありせば) と実施しなかった場合 (事業なかりせば) を比較し、水田貯留機能の向上に向けた取組に必要な施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での当該地域や下流域の洪水被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

○対象施設

水田貯留機能の向上に向けた取組に必要な施設

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{ピークカット流出量} \times \text{排水量当たり単価} \times \text{還元率}$$

○年効果額の算定

(単位：千円)

区分	ピークカット 流出量 (m^3/s) ①	排水量当たり 単価 (千円/ m^3/s) ②	還元率 ③	年効果額 ④ = ① × ② × ③
新設整備	9.51	94,640	0.0736	66,242
更新整備	—	—	—	—
合計				66,242

- ・ピークカット流出量：事業なかりせば最大流出量－事業ありせば最大流出量
- ・排水量当たり単価：近傍排水施設の事業費と排水量により算定
- ・還元率：施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数

(9) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意志額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

作物生産効果算定作物のうち、食料生産に係るもの

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額（原単位）} \\ + \text{年増加供給熱量} \times \text{単位供給熱量当たり効果額（原単位）}$$

○年効果額の算定

（単位：千円）

区 分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 （千 kcal）②	単位食料生産 額当たり効果 額（円/千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千 kcal） ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤＝①×③＋ ②×④
新設整備	244,637	36,351	49	9.9	12,347
更新整備	543,705	6,721,840	49	9.9	93,188
合 計	788,342	6,758,191			105,535

増加粗収益額、増加供給熱量：作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。

単位食料生産額当たり効果額、単位供給熱量当たり効果額：一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした。

3. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局整備部(監修) [改訂版] 「新たな土地改良の効果算定マニュアル」 大成出版社 (平成 27 年 9 月 5 日第 2 版第 1 刷)
- ・土地改良の費用対効果分析に関する基本指針の制定について (平成 19 年 3 月 28 日付け 18 農振第 1596 号農村振興局長通知 (最終改正: 令和 7 年 4 月 2 日))
- ・土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について (平成 19 年 3 月 28 日付け 18 農振第 1597 号農林水産省農村振興局整備部長通知 (最終改正: 令和 7 年 4 月 2 日))
- ・「国産農産物安定供給効果」について (平成 27 年 3 月 27 日付け 26 農振第 2072 号農林水産省農村振興局整備部長通知 (令和 5 年 4 月 3 日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について (令和 5 年 9 月 13 日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡)
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について (平成 19 年 3 月 28 日付け農林水産省農村振興局企画部長通知 (令和 8 年 3 月 31 日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について (令和 8 年 3 月 31 日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐 (事業効果班) 事務連絡)

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、関東農政局茨城中部農地整備事業所調べ

【便益】

- ・農林水産省大臣官房統計部 (令和元年～令和 6 年) 「作物統計」 農林水産省
- ・令和 2 年国勢調査 (<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/>)
- ・農林水産省統計部 (令和 2 年) 「令和 2 年農林業センサス茨城県統計書」 農林水産統計協会
- ・効果算定に必要な各種諸元については、関東農政局茨城中部農地整事業所調べ

茨城中部地区の事業の効用に関する詳細
1 (2) 総費用の総括ー1

区分	施設名 (又は工種)	事業着工時点 の資産価額	当該事業費	関連事業費	評価期間に おける 再整備費	評価期間終了 時点の資産価額	(単位：千円) 総費用 ⑥=①+②+③+④ -⑤
		①	②	③	④	⑤	
国 営 造 成 施 設	大串下大野地区 整地工	-	953,603	-	-	0	953,603
	大串下大野地区 道路(路面As)	-	65,790	-	-	0	65,790
	大串下大野地区 道路(路面砂利)	-	82,704	-	-	0	82,704
	大串下大野地区 道路(路盤・路床)	-	149,499	-	-	0	149,499
	大串下大野地区 用水路	-	900,829	-	197,129	43,854	1,054,104
	大串下大野地区 用水機場(上屋)	-	225,456	-	18,426	16,279	227,603
	大串下大野地区 用水機場(機械)	-	460,535	-	216,376	33,492	643,419
	大串下大野地区 調整池	-	519,784	-	-	24,014	495,770
	大串下大野地区 排水路	-	1,569,374	-	335,268	74,585	1,830,057
	大串下大野地区 暗渠排水	-	646,201	-	256,392	58,414	844,179
	大野地区 整地工	-	209,972	-	-	0	209,972
	大野地区 道路(路面As)	-	27,809	-	-	0	27,809
	大野地区 道路(路面砂利)	-	20,771	-	-	0	20,771
	大野地区 道路(路盤・路床)	-	59,916	-	-	0	59,916
	大野地区 用水路	-	86,681	-	20,450	2,692	104,439
	大野地区 用水機場(上屋)	-	45,368	-	3,973	2,722	46,619
	大野地区 用水機場(機械)	-	85,717	-	43,532	3,988	125,261
	大野地区 調整池	-	71,447	-	-	2,672	68,775
	大野地区 排水路	-	640,726	-	142,886	18,811	764,801
	大野地区 暗渠排水	-	89,695	-	43,965	6,760	126,900
	川又小泉地区 整地工	-	1,183,933	-	-	0	1,183,933
	川又小泉地区 道路(路面As)	-	86,556	-	-	0	86,556
	川又小泉地区 道路(路面砂利)	-	84,640	-	-	0	84,640
	川又小泉地区 道路(路盤・路床)	-	203,449	-	-	0	203,449
	川又小泉地区 用水路	-	316,468	-	67,220	20,703	362,985
	川又小泉地区 用水機場(上屋)	-	111,144	-	-	202	110,942
	川又小泉地区 用水機場(機械)	-	224,084	-	102,741	22,017	304,808
	川又小泉地区 調整池	-	241,256	-	-	13,230	228,026
	川又小泉地区 排水路	-	571,143	-	120,996	37,266	654,873
	川又小泉地区 暗渠排水	-	342,291	-	141,515	41,993	441,813
	島田地区 整地工	-	278,577	-	-	0	278,577
	島田地区 道路(路面As)	-	24,979	-	-	0	24,979
	島田地区 道路(路面砂利)	-	5,918	-	-	0	5,918
	島田地区 道路(路盤・路床)	-	39,694	-	-	0	39,694
	島田地区 用水路	-	100,236	-	20,459	6,301	114,394
	島田地区 用水機場(上屋)	-	25,897	-	-	48	25,849
	島田地区 用水機場(機械)	-	54,777	-	24,314	5,210	73,881
	島田地区 調整池	-	54,927	-	-	2,942	51,985
	島田地区 排水路	-	202,412	-	39,142	12,055	229,499
	島田地区 暗渠排水	-	130,493	-	44,469	13,196	161,766
	塩崎地区 整地工	-	340,712	-	-	0	340,712
	塩崎地区 道路(路面As)	-	19,027	-	-	0	19,027
	塩崎地区 道路(路面砂利)	-	44,641	-	-	0	44,641

茨城中部地区の事業の効用に関する詳細
1(2) 総費用の総括ー2

区分	施設名 (又は工種)	事業着工時点 の資産価額	当該事業費	関連事業費	評価期間に おける 再整備費	評価期間終了 時点の資産価額	(単位:千円) 総費用 ⑥=①+②+③+④ -⑤
		①	②	③	④	⑤	
国 営 造 成 施 設	塩崎地区 道路(路盤・路床)	-	67,377	-	-	0	67,377
	塩崎地区 用水路	-	157,385	-	-	0	157,385
	塩崎地区 用水機場(上屋)	-	61,113	-	5,995	3,369	63,739
	塩崎地区 用水機場(機械)	-	131,460	-	75,041	4,074	202,427
	塩崎地区 調整池	-	157,389	-	-	5,286	152,103
	塩崎地区 排水路	-	208,287	-	-	0	208,287
	塩崎地区 暗渠排水	-	147,945	-	83,312	9,110	222,147
	上国井地区 整地工	-	623,261	-	-	0	623,261
	上国井地区 道路(路面As)	-	47,579	-	-	0	47,579
	上国井地区 道路(路面砂利)	-	12,969	-	-	0	12,969
	上国井地区 道路(路盤・路床)	-	80,637	-	-	0	80,637
	上国井地区 用水路	-	237,478	-	59,244	7,800	288,922
	上国井地区 用水機場(上屋)	-	60,036	-	5,581	3,822	61,795
	上国井地区 用水機場(機械)	-	125,546	-	67,539	6,187	186,898
	上国井地区 調整池	-	49,261	-	-	1,955	47,306
	上国井地区 排水路	-	240,027	-	61,280	8,068	293,239
	奥谷地区 整地工	-	575,920	-	-	0	575,920
	奥谷地区 道路(路面As)	-	94,051	-	-	0	94,051
	奥谷地区 道路(路面砂利)	-	41,937	-	-	0	41,937
	奥谷地区 道路(路盤・路床)	-	96,391	-	-	0	96,391
	奥谷地区 用水路	-	130,433	-	-	0	130,433
	奥谷地区 用水機場(上屋)	-	69,738	-	7,037	3,955	72,820
	奥谷地区 用水機場(機械)	-	137,697	-	82,816	4,496	216,017
	奥谷地区 調整池	-	67,032	-	-	2,371	64,661
	奥谷地区 排水路	-	314,647	-	-	0	314,647
	奥谷地区 暗渠排水	-	114,860	-	65,182	7,127	172,915
	越安地区 整地工	-	512,492	-	-	0	512,492
	越安地区 道路(路面砂利)	-	80,854	-	-	0	80,854
	越安地区 道路(路盤・路床)	-	77,011	-	-	0	77,011
	越安地区 用水路	-	134,242	-	34,458	4,536	164,164
	越安地区 用水機場(上屋)	-	69,062	-	6,708	4,595	71,175
	越安地区 用水機場(機械)	-	139,473	-	76,596	7,016	209,053
	越安地区 調整池	-	69,872	-	-	2,834	67,038
	越安地区 用水樋管	-	244,266	-	42,722	5,624	281,364
	越安地区 排水路	-	427,226	-	105,503	13,890	518,839
	越安地区 暗渠排水	-	91,018	-	46,818	7,198	130,638
	小堤地区 整地工	-	569,342	-	-	0	569,342
	小堤地区 道路(路面砂利)	-	62,165	-	-	0	62,165
	小堤地区 道路(路盤・路床)	-	52,691	-	-	0	52,691
	小堤地区 用水路	-	154,738	-	40,008	5,267	189,479
	小堤地区 用水機場(上屋)	-	32,551	-	3,038	2,081	33,508
	小堤地区 用水機場(機械)	-	108,093	-	60,363	5,529	162,927
	小堤地区 調整池	-	61,876	-	-	2,557	59,319

茨城中部地区の事業の効用に関する詳細
1 (2) 総費用の総括-3

							(単位：千円)
区 分	施 設 名 (又は工種)	事業着工時点 の資産価額	当該事業費	関連事業費	評価期間に おける 再整備費	評価期間終了 時点の資産価額	総費用 ⑥＝①＋②＋③＋④ －⑤
		①	②	③	④	⑤	
国 営 造 成 施 設	小堤地区 用水樋管	-	165,344	-	32,968	4,340	193,972
	小堤地区 排水路	-	404,137	-	103,663	13,647	494,153
	小堤地区 排水機場(上屋)	-	37,289	-	3,623	2,482	38,430
	小堤地区 排水機場(機械)	-	617,706	-	354,743	32,495	939,954
	小堤地区 排水樋管	-	190,404	-	39,181	5,158	224,427
	小堤地区 暗渠排水	-	245,954	-	130,200	20,018	356,136
	沼前馬割干拓地区 整地工	-	1,287,798	-	-	0	1,287,798
	沼前馬割干拓地区 道路(路面As)	-	38,003	-	-	0	38,003
	沼前馬割干拓地区 道路(路面砂利)	-	24,610	-	-	0	24,610
	沼前馬割干拓地区 道路(路盤・路床)	-	46,394	-	-	0	46,394
	沼前馬割干拓地区 用水路	-	284,500	-	63,268	19,486	328,282
	沼前馬割干拓地区 用水機場(上屋)	-	77,758	-	-	146	77,612
	沼前馬割干拓地区 用水機場(機械)	-	198,944	-	96,162	20,607	274,499
	沼前馬割干拓地区 調整池	-	52,478	-	-	3,089	49,389
	沼前馬割干拓地区 排水路	-	487,693	-	104,485	32,180	559,998
	沼前馬割干拓地区 暗渠排水	-	286,094	-	117,425	34,845	368,674
	船渡東永寺地区 整地工	-	1,388,519	-	-	0	1,388,519
	船渡東永寺地区 道路(路面As)	-	89,277	-	-	0	89,277
	船渡東永寺地区 道路(路面砂利)	-	49,103	-	-	0	49,103
	船渡東永寺地区 道路(路盤・路床)	-	100,886	-	-	0	100,886
	船渡東永寺地区 用水路	-	232,456	-	47,730	17,887	262,299
	船渡東永寺地区 用水機場(上屋)	-	43,015	-	-	224	42,791
	船渡東永寺地区 用水機場(機械)	-	110,264	-	49,198	12,829	146,633
	船渡東永寺地区 調整池	-	62,394	-	-	3,880	58,514
	船渡東永寺地区 用水樋管	-	90,798	-	12,611	4,726	98,683
	船渡東永寺地区 排水路	-	892,466	-	181,720	68,102	1,006,084
	船渡東永寺地区 暗渠排水	-	277,156	-	71,580	2,970	345,766
	下石崎地区 整地工	-	155,680	-	-	0	155,680
	下石崎地区 道路(路面砂利)	-	11,575	-	-	0	11,575
	下石崎地区 道路(路盤・路床)	-	10,984	-	-	0	10,984
	下石崎地区 用水路	-	15,259	-	3,621	407	18,473
	下石崎地区 用水機場(上屋)	-	13,227	-	1,114	715	13,626
	下石崎地区 用水機場(機械)	-	27,269	-	13,955	1,093	40,131
	下石崎地区 調整池	-	13,581	-	-	468	13,113
	下石崎地区 排水路	-	195,896	-	42,958	4,834	234,020
	下石崎地区 暗渠排水	-	26,984	-	13,209	1,822	38,371
	小鶴地区 整地工	-	616,529	-	-	0	616,529
	小鶴地区 道路(路面砂利)	-	26,163	-	-	0	26,163
	小鶴地区 道路(路盤・路床)	-	24,915	-	-	0	24,915
	小鶴地区 用水路	-	64,904	-	13,753	5,154	73,503
	小鶴地区 用水機場(上屋)	-	16,277	-	-	102	16,175
	小鶴地区 用水機場(機械)	-	35,537	-	16,590	4,326	47,801
	小鶴地区 調整池	-	21,440	-	-	1,346	20,094

茨城中部地区の事業の効用に関する詳細
1(2) 総費用の総括-4

区分	施設名 (又は工種)	事業着工時点 の資産価額	当該事業費	関連事業費	評価期間に おける 再整備費	評価期間終了 時点の資産価額	(単位:千円) 総費用 ⑥=①+②+③+④ -⑤
		①	②	③	④	⑤	
国 営 造 成 施 設	小鶴地区 用水樋管	-	55,661	-	8,110	3,039	60,732
	小鶴地区 排水路	-	280,066	-	60,146	22,540	317,672
	小鶴地区 暗渠排水	-	118,219	-	25,731	1,068	142,882
	御前山ダム 本体	726,245	-	-	-	19,163	707,082
	御前山ダム 付帯施設	0	-	29,587	129,933	6,224	153,296
	那珂川揚水機場(ポンプ)	-	-	441,424	160,592	27,841	574,175
	那珂川揚水機場(建屋)	-	-	189,180	17,622	16,568	190,234
	成沢送水路	-	-	930,075	105,574	70,922	964,727
	水内幹線水路	-	-	908,505	101,400	68,118	941,787
	高根幹線水路	-	-	831,735	98,774	66,354	864,155
	内茨幹線水路	-	-	848,192	116,102	77,995	886,299
	水管理施設	-	-	45,553	56,328	2,250	99,631
	下江戸揚水機場(ポンプ)	0	-	60,594	22,149	3,840	78,903
	下江戸揚水機場(建屋)	477	-	933	88	83	1,415
	下江戸揚水機場(取水ゲート)	0	-	6,522	1,117	278	7,361
	下江戸揚水機場(吸水槽)	5,545	-	25,170	-	183	30,532
	下江戸送水路	3,012	-	-	24,916	4,346	23,582
	那珂中部幹線	0	-	32,884	6,082	2,111	36,855
	那珂中部幹線 継続	93,413	-	-	144,872	25,075	213,210
	渡里揚水機場(建屋)	2,530	-	16,093	974	916	18,681
	渡里揚水機場(ポンプ)	0	-	37,553	13,769	2,387	48,935
	渡里送水路	0	-	16,829	4,467	693	20,603
	中央幹線排水路	2,762	-	-	9,275	984	11,053
	第3号幹線用水路	72,876	-	-	57,478	9,277	121,077
	国営造成施設 計	906,860	28,048,165	4,420,829	5,447,750	1,343,826	37,479,778
県 営 造 成 施 設	渡里幹線1	0	-	30,762	7,564	1,494	36,832
	渡里幹線2	2,638	-	-	-	0	2,638
	渡里幹線3	0	-	-	-	0	0
	用水路 渡里1	0	-	6,962	2,101	236	8,827
	用水路 渡里2	0	-	390	114	11	493
	石崎機場(ポンプ)	0	-	1,010	590	26	1,574
	石崎機場(建屋)	0	-	-	325	8	317
	大杉山揚水機場(ポンプ)	0	-	983,014	235,750	40,871	1,177,893
	大杉山揚水機場(建屋)	16,060	-	-	20,985	606	36,439
	備前堀機場(建屋)	8,480	-	-	48,982	1,848	55,614
	備前堀機場(ポンプ)	0	-	-	135,154	17,252	117,902
	備前堀幹線	220,247	-	260,421	45,848	30,799	495,717
	用水路 備前堀	35,400	-	4,582	951	357	40,576
	県営造成施設 計	282,825	-	1,287,141	498,364	93,508	1,974,822
そ の 他	東永寺支線	-	-	518	151	14	655
	末端用排水路(大串下大野)	0	-	-	-	0	0
	大野栗崎地区第3用水機場(建屋)	4,895	-	-	-	0	4,895
	大野栗崎地区第3用水機場(ポンプ)	0	-	-	-	0	0

茨城中部地区の事業の効用に関する詳細
1(2) 総費用の総括-5

区分	施設名 (又は工種)	事業着工時点 の資産価額	当該事業費	関連事業費	評価期間に おける 再整備費	評価期間終了 時点の資産価額	(単位:千円) 総費用 ⑥=①+②+③+④ -⑤
		①	②	③	④	⑤	
その他の 造成施設	大野地区支線水路	1,157	-	-	-	0	1,157
	末端用排水路(大野)	0	-	-	-	0	0
	川又用水機場(建屋)	1,094	-	-	-	0	1,094
	川又用水機場(ポンプ)	0	-	-	-	0	0
	篠平用水機場(建屋)	1,135	-	-	-	0	1,135
	篠平用水機場(ポンプ)	0	-	-	-	0	0
	小泉用水機場(建屋)	0	-	-	-	0	0
	小泉用水機場(ポンプ)	7,352	-	-	-	0	7,352
	四又用水機場(建屋)	0	-	-	-	0	0
	四又用水機場(ポンプ)	2,370	-	-	-	0	2,370
	末端用排水路(川又小泉)	0	-	-	-	0	0
	島田地区用水機場(建屋)	0	-	-	-	0	0
	島田地区用水機場(ポンプ)	10,394	-	-	-	0	10,394
	末端用排水路(島田)	0	-	-	-	0	0
	塩崎地区用水機場(建屋)	0	-	-	-	0	0
	塩崎地区用水機場(ポンプ)	13,677	-	-	-	0	13,677
	末端用排水路(塩崎)	0	-	-	-	0	0
	末端排水路(塩崎)	50,329	-	-	-	0	50,329
	末端用排水路(上国井)	0	-	-	-	0	0
	奥谷用水機場(建屋)	679	-	-	-	0	679
	奥谷用水機場(ポンプ)	3,197	-	-	-	0	3,197
	弁天池(奥谷)	0	-	-	-	0	0
	末端用排水路(奥谷)	0	-	-	-	0	0
	越安揚水機場(建屋)	0	-	-	-	0	0
	越安揚水機場(ポンプ)	1,693	-	-	-	0	1,693
	越安揚水ゲート	0	-	-	-	0	0
	越安水中ポンプ	4,007	-	-	4,892	612	8,287
	末端用排水路(越安)	0	-	-	-	0	0
	小堤揚水機場(建屋)	1,004	-	-	-	0	1,004
	小堤揚水機場(ポンプ)	13,677	-	-	-	0	13,677
	末端用排水路(小堤)	0	-	-	-	0	0
	東永寺揚水機場(船渡)(建屋)	0	-	-	13,850	1,973	11,877
	東永寺揚水機場(船渡)(ポンプ)	0	-	-	22,256	2,785	19,471
	船渡第1揚水機場(建屋)	6,297	-	-	35,454	5,050	36,701
	船渡第1揚水機場(ポンプ)	0	-	-	28,414	3,555	24,859
	船渡第1ゲート	8,795	-	-	17,724	1,881	24,638
	船渡揚水調整池	22,312	-	-	-	159	22,153
	船渡第2揚水機場(建屋)	3,803	-	-	-	0	3,803
	船渡第2揚水機場(ポンプ)	0	-	-	-	0	0
	船渡第2ゲート	0	-	-	-	0	0
	船渡第3揚水機場(建屋)	182	-	-	-	0	182
	船渡第3揚水機場(ポンプ)	0	-	-	-	0	0
	谷田部用排水樋門	87,411	-	-	125,816	13,353	199,874

茨城中部地区の事業の効用に関する詳細
1 (2) 総費用の総括ー6

区 分	施 設 名 (又は工種)	事業着工時点 の資産価額	当該事業費	関連事業費	評価期間に おける 再整備費	評価期間終了 時点の資産価額	(単位：千円)
							総費用 ⑥＝①＋②＋③＋④ －⑤
		①	②	③	④	⑤	
そ の 他 の 造 成 施 設	谷田部第2揚水機場(建屋)	34,973	-	-	14,472	2,413	47,032
	谷田部第2揚水機場(ポンプ)	10,401	-	-	29,629	3,707	36,323
	東永寺ゲート(船渡)	5,372	-	-	13,532	1,436	17,468
	船渡排水機場(建屋)	67,957	-	-	44,122	4,070	108,009
	船渡排水機場(ポンプ)	0	-	-	35,470	4,438	31,032
	東永寺ゲート(東永寺)	0	-	-	7,758	823	6,935
	東永寺揚水機場(東永寺)(建屋)	6,822	-	-	-	0	6,822
	東永寺揚水機場(東永寺)(ポンプ)	0	-	-	-	0	0
	末端用排水路(船渡東永寺)	0	-	-	-	0	0
	東永寺排水機場(建屋)	57,367	-	-	-	0	57,367
	東永寺排水機場(ポンプ)	0	-	-	-	0	0
	小鶴堰	0	-	-	40,206	6,931	33,275
	末端用排水路(小鶴)	0	-	-	-	0	0
	その他の施設 計	428,352	-	518	433,746	53,200	809,416
合 計	1,618,037	28,048,165	5,708,488	6,379,860	1,490,534	40,264,016	

茨城中部地区の事業の効用に 関する詳細
1 (3) 総便益額算出表－ 1

評価 期間	年 度	割引率 (1+割引率) ¹	経過 年 (t)	作物生産効果						営農経費節減効果						維持管理費節減効果					
				更新分に 係る効果 年効果額		新設及び機能向上分 に係る効果		計		更新分に 係る効果 年効果額		新設及び機能向上分 に係る効果		計		更新分に 係る効果 年効果額		新設及び機能向上分 に係る効果		計	
				(千円) ②	(千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	(千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①	(千円) ②	(千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	(千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①	(千円) ②	(千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	(千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①
1	H.28	0.6756	-10	484,048	114,809	-	-	484,048	716,471	10,390	1,092,490	-	-	10,390	15,379	△36,426	△7,888	-	-	△36,426	△53,917
2	H.29	0.7026	-9	484,048	114,809	-	-	484,048	688,938	10,390	1,092,490	-	-	10,390	14,788	△36,426	△7,888	-	-	△36,426	△51,845
3	H.30	0.7307	-8	484,048	114,809	-	-	484,048	662,444	10,390	1,092,490	-	-	10,390	14,219	△36,426	△7,888	-	-	△36,426	△49,851
4	R.1	0.7599	-7	484,048	114,809	-	-	484,048	636,989	10,390	1,092,490	-	-	10,390	13,673	△36,426	△7,888	-	-	△36,426	△47,935
5	R.2	0.7903	-6	484,048	114,809	9.3	10,677	494,725	625,996	10,390	1,092,490	9.7	105,972	116,362	147,238	△36,426	△7,888	9.7	△765	△37,191	△47,059
6	R.3	0.8219	-5	484,048	114,809	9.3	10,677	494,725	601,928	10,390	1,092,490	9.7	105,972	116,362	141,577	△36,426	△7,888	9.7	△765	△37,191	△45,250
7	R.4	0.8548	-4	484,048	114,809	10.2	11,711	495,759	579,971	10,390	1,092,490	10.5	114,711	125,101	146,351	△36,426	△7,888	10.5	△828	△37,254	△43,582
8	R.5	0.8890	-3	484,048	114,809	24.8	28,473	512,521	576,514	10,390	1,092,490	27.1	296,065	306,455	344,719	△36,426	△7,888	27.1	△2,138	△38,564	△43,379
9	R.6	0.9246	-2	484,048	114,809	24.8	28,473	512,521	554,316	10,390	1,092,490	27.1	296,065	306,455	331,446	△36,426	△7,888	27.1	△2,138	△38,564	△41,709
10	R.7	0.9615	-1	484,048	114,809	24.8	28,473	512,521	533,043	10,390	1,092,490	27.1	296,065	306,455	318,726	△36,426	△7,888	27.1	△2,138	△38,564	△40,108
11	R.8	1.0000	0	484,048	114,809	24.8	28,473	512,521	512,521	10,390	1,092,490	27.1	296,065	306,455	306,455	△36,426	△7,888	27.1	△2,138	△38,564	△38,564
12	R.9	1.0400	1	484,048	114,809	43.8	50,286	534,334	513,783	10,390	1,092,490	47.5	518,933	529,323	508,964	△36,426	△7,888	47.5	△3,747	△40,173	△38,628
13	R.10	1.0816	2	484,048	114,809	45.5	52,238	536,286	495,827	10,390	1,092,490	47.5	518,933	529,323	489,389	△36,426	△7,888	47.5	△3,747	△40,173	△37,142
14	R.11	1.1249	3	484,048	114,809	45.5	52,238	536,286	476,741	10,390	1,092,490	47.5	518,933	529,323	470,551	△36,426	△7,888	47.5	△3,747	△40,173	△35,713
15	R.12	1.1699	4	484,048	114,809	78.8	90,469	574,517	491,082	10,390	1,092,490	81.2	887,102	897,492	767,153	△36,426	△7,888	81.2	△6,405	△42,831	△36,611
16	R.13	1.2167	5	484,048	114,809	78.8	90,469	574,517	472,193	10,390	1,092,490	81.2	887,102	897,492	737,644	△36,426	△7,888	81.2	△6,405	△42,831	△35,203
17	R.14	1.2653	6	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	473,292	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	871,635	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△35,023
18	R.15	1.3159	7	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	455,093	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	838,118	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△33,676
19	R.16	1.3686	8	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	437,569	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	805,845	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△32,379
20	R.17	1.4233	9	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	420,752	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	774,875	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△31,135
21	R.18	1.4802	10	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	404,578	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	745,089	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△29,938
22	R.19	1.5395	11	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	388,994	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	716,388	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△28,785
23	R.20	1.6010	12	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	374,052	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	688,869	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△27,679
24	R.21	1.6651	13	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	359,652	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	662,351	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△26,613
25	R.22	1.7317	14	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	345,820	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	636,877	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△25,590
26	R.23	1.8009	15	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	332,532	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	612,405	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△24,607
27	R.24	1.8730	16	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	319,731	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	588,831	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△23,659
28	R.25	1.9479	17	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	307,437	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	566,189	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△22,750
29	R.26	2.0258	18	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	295,615	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	544,417	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△21,875
30	R.27	2.1068	19	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	284,250	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	523,486	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△21,034
31	R.28	2.1911	20	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	273,313	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	503,345	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△20,225
32	R.29	2.2788	21	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	262,795	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	483,974	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△19,446
33	R.30	2.3699	22	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	252,693	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	465,370	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△18,699
34	R.31	2.4647	23	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	242,974	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	447,470	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△17,979
35	R.32	2.5633	24	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	233,627	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	430,258	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△17,288
36	R.33	2.6658	25	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	224,644	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	413,714	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△16,623
37	R.34	2.7725	26	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	215,999	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	397,793	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△15,983
38	R.35	2.8834	27	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	207,691	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	382,493	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△15,369
39	R.36	2.9987	28	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	199,706	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	367,786	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△14,778
40	R.37	3.1187	29	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	192,021	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	353,635	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44,314	△14,209
41	R.38	3.2434	30	484,048	114,809	100.0	114,809	598,857	184,639	10,390	1,092,490	100.0	1,092,490	1,102,880	340,038	△36,426	△7,888	100.0	△7,888	△44	

茨城中部地区の事業の効用に 関する詳細

1 (3) 総便益額算出表－ 2

評価 期間	年 度	割引率 (1+割引率) ¹	経 過 年 (t)	耕作放棄防止効果						非農用地等創設効果						洪水調節機能効果（農業用ダム）					
				更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計		更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計	
				(千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年発生効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①	(千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年発生効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①	(千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生割合 (%) ④	年発生効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①
1	H.28	0.6756	-10	-	9,216	-	-	-	-	-	179	-	-	-	-	-	1,788	-	-	-	-
2	H.29	0.7026	-9	-	9,216	-	-	-	-	-	179	-	-	-	-	-	1,788	-	-	-	-
3	H.30	0.7307	-8	-	9,216	-	-	-	-	-	179	-	-	-	-	-	1,788	-	-	-	-
4	R.1	0.7599	-7	-	9,216	-	-	-	-	-	179	-	-	-	-	-	1,788	-	-	-	-
5	R.2	0.7903	-6	-	9,216	9.7	894	894	1,131	-	179	-	-	-	-	-	1,788	100.0	1,788	1,788	2,262
6	R.3	0.8219	-5	-	9,216	9.7	894	894	1,088	-	179	-	-	-	-	-	1,788	100.0	1,788	1,788	2,175
7	R.4	0.8548	-4	-	9,216	10.5	968	968	1,132	-	179	-	-	-	-	-	1,788	100.0	1,788	1,788	2,092
8	R.5	0.8890	-3	-	9,216	27.1	2,498	2,498	2,810	-	179	-	-	-	-	-	1,788	100.0	1,788	1,788	2,011
9	R.6	0.9246	-2	-	9,216	27.1	2,498	2,498	2,702	-	179	-	-	-	-	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,934
10	R.7	0.9615	-1	-	9,216	27.1	2,498	2,498	2,598	-	179	-	-	-	-	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,860
11	R.8	1.0000	0	-	9,216	27.1	2,498	2,498	2,498	-	179	100.0	179	179	179	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,788
12	R.9	1.0400	1	-	9,216	47.5	4,378	4,378	4,210	-	179	100.0	179	179	172	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,719
13	R.10	1.0816	2	-	9,216	47.5	4,378	4,378	4,048	-	179	100.0	179	179	165	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,653
14	R.11	1.1249	3	-	9,216	47.5	4,378	4,378	3,892	-	179	100.0	179	179	159	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,589
15	R.12	1.1699	4	-	9,216	81.2	7,483	7,483	6,396	-	179	100.0	179	179	153	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,528
16	R.13	1.2167	5	-	9,216	81.2	7,483	7,483	6,150	-	179	100.0	179	179	147	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,470
17	R.14	1.2653	6	-	9,216	100.0	9,216	9,216	7,284	-	179	100.0	179	179	141	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,413
18	R.15	1.3159	7	-	9,216	100.0	9,216	9,216	7,004	-	179	100.0	179	179	136	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,359
19	R.16	1.3686	8	-	9,216	100.0	9,216	9,216	6,734	-	179	100.0	179	179	131	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,306
20	R.17	1.4233	9	-	9,216	100.0	9,216	9,216	6,475	-	179	100.0	179	179	126	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,256
21	R.18	1.4802	10	-	9,216	100.0	9,216	9,216	6,226	-	179	100.0	179	179	121	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,208
22	R.19	1.5395	11	-	9,216	100.0	9,216	9,216	5,986	-	179	100.0	179	179	116	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,161
23	R.20	1.6010	12	-	9,216	100.0	9,216	9,216	5,756	-	179	100.0	179	179	112	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,117
24	R.21	1.6651	13	-	9,216	100.0	9,216	9,216	5,535	-	179	100.0	179	179	108	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,074
25	R.22	1.7317	14	-	9,216	100.0	9,216	9,216	5,322	-	179	100.0	179	179	103	-	1,788	100.0	1,788	1,788	1,033
26	R.23	1.8009	15	-	9,216	100.0	9,216	9,216	5,117	-	179	100.0	179	179	99	-	1,788	100.0	1,788	1,788	993
27	R.24	1.8730	16	-	9,216	100.0	9,216	9,216	4,920	-	179	100.0	179	179	96	-	1,788	100.0	1,788	1,788	955
28	R.25	1.9479	17	-	9,216	100.0	9,216	9,216	4,731	-	179	100.0	179	179	92	-	1,788	100.0	1,788	1,788	918
29	R.26	2.0258	18	-	9,216	100.0	9,216	9,216	4,549	-	179	100.0	179	179	88	-	1,788	100.0	1,788	1,788	883
30	R.27	2.1068	19	-	9,216	100.0	9,216	9,216	4,374	-	179	100.0	179	179	85	-	1,788	100.0	1,788	1,788	849
31	R.28	2.1911	20	-	9,216	100.0	9,216	9,216	4,206	-	179	100.0	179	179	82	-	1,788	100.0	1,788	1,788	816
32	R.29	2.2788	21	-	9,216	100.0	9,216	9,216	4,044	-	179	100.0	179	179	79	-	1,788	100.0	1,788	1,788	785
33	R.30	2.3699	22	-	9,216	100.0	9,216	9,216	3,889	-	179	100.0	179	179	76	-	1,788	100.0	1,788	1,788	754
34	R.31	2.4647	23	-	9,216	100.0	9,216	9,216	3,739	-	179	100.0	179	179	73	-	1,788	100.0	1,788	1,788	725
35	R.32	2.5633	24	-	9,216	100.0	9,216	9,216	3,595	-	179	100.0	179	179	70	-	1,788	100.0	1,788	1,788	698
36	R.33	2.6658	25	-	9,216	100.0	9,216	9,216	3,457	-	179	100.0	179	179	67	-	1,788	100.0	1,788	1,788	671
37	R.34	2.7725	26	-	9,216	100.0	9,216	9,216	3,324	-	179	100.0	179	179	65	-	1,788	100.0	1,788	1,788	645
38	R.35	2.8834	27	-	9,216	100.0	9,216	9,216	3,196	-	179	100.0	179	179	62	-	1,788	100.0	1,788	1,788	620
39	R.36	2.9987	28	-	9,216	100.0	9,216	9,216	3,073	-	179	100.0	179	179	60	-	1,788	100.0	1,788	1,788	596
40	R.37	3.1187	29	-	9,216	100.0	9,216	9,216	2,955	-	179	100.0	179	179	57	-	1,788	100.0	1,788	1,788	573
41	R.38	3.2434	30	-	9,216	100.0	9,216	9,216	2,841	-	179	100.0	179	179	55	-	1,788	100.0	1,788	1,788	551
42	R.39	3.3731	31	-	9,216	100.0	9,216	9,216	2,732	-	179	100.0	179	179	53	-	1,788	100.0	1,788	1,788	530
43	R.40	3.5081	32	-	9,216	100.0	9,216	9,216	2,627	-	179	100.0	179	179	51	-	1,788	100.0	1,788	1,788	510
44	R.41	3.6484	33	-	9,216	100.0	9,216	9,216	2,526	-	179	100.0	179	179	49	-	1,788	100.0	1,788	1,788	490
45	R.42	3.7943	34	-	9,216	100.0	9,216	9,216	2,429	-	179	100.0	179	179	47	-	1,788	100.0	1,788	1,788	471
46	R.43	3.9461	35	-	9,216	100.0	9,216	9,216	2,335	-	179	100.0	179	179	45	-	1,788	100.0	1,788	1,788	453
47	R.44	4.1039	36	-	9,216	100.0	9,216	9,216	2,246	-	179	100.0	179	179	44	-	1,788	100.0	1,788	1,788	436
48	R.45	4.2681	37	-	9,216	100.0	9,216	9,216	2,159	-	179	100.0	179	179	42	-	1,788	100.0	1,788	1,788	419
49	R.46	4.4388	38	-	9,216	100.0	9,216	9,216	2,076	-	179	100.0	179	179	40	-	1,788	100.0	1,788	1,788	403
50	R.47	4.6164	39	-	9,216	100.0	9,216	9,216	1,996	-	179	100.0	179	179	39	-	1,788	100.0	1,788	1,788	387
51	R.48	4.8010	40	-	9,216	100.0	9,216	9,216	1,920	-	179	100.0	179	179	37	-	1,788	100.0	1,788	1,788	372
52	R.49	4.9931	41	-	9,216	100.0	9,216	9,216	1,846	-	179	100.0	179	179	36	-	1,788	100.0	1,788	1,788	358
53	R.50	5.1928	42	-	9,216	100.0	9,216	9,216	1,775	-	179	100.0	179	179	34	-	1,788	100.0	1,788	1,788	344
54	R.51	5.4005	43	-	9,216	100.0	9,216	9,216	1,707	-	179	100.0	179	179	33	-	1,788	100.0	1,788	1,788	331
55	R.52	5.6165	44	-	9,216	100.0	9,216	9,216	1,641	-	179	100.0	179	179	32	-	1,788	100.0	1,788	1,788	318
56	R.53	5.8412	45	-	9,216	100.0	9,216	9,216	1,578	-	179	100.0	179	179	31	-	1,788	100.0	1,788	1,788	306
57	R.54	6.0748	46	-	9,216	100.0	9,216	9,216	1,517	-	179	100.0	179	179	29	-	1,788	100.0	1,788	1,788	294
58	R.55	6.3178	47	-	9,216	100.0	9,216	9,216	1,459	-	179	100.0	179	179	28	-	1,788	100.0	1,788	1,788	283
合計（総便益額）				-	-	-	-	-	191,556	-	-	-	-	-	3,945	-	-	-	-	-	51,745

※経過年は評価年からの年数

茨城中部地区の事業の効用に 関する詳細
1 (3) 総便益額算出表－ 3

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) ¹	経過 年 (t)	水田貯留機能向上効果						国産農産物安定供給効果						割引後 効果額 合計 (千円)	備考						
				更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計	更新分に 係る効果 年効果額	新設及び機能向上分 に係る効果			計										
				(千円) ②	(千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①	(千円) ②	(千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割引後 (千円) ⑦=⑥/①								
1	H.28	0.6756	-10	-	66,242	-	-	-	-	93,188	12,347	-	-	93,188	137,934							815,867	
2	H.29	0.7026	-9	-	66,242	-	-	-	-	93,188	12,347	-	-	93,188	132,633							784,514	
3	H.30	0.7307	-8	-	66,242	-	-	-	-	93,188	12,347	-	-	93,188	127,533							754,345	
4	R.1	0.7599	-7	-	66,242	-	-	-	-	93,188	12,347	-	-	93,188	122,632							725,359	
5	R.2	0.7903	-6	-	66,242	-	-	-	-	93,188	12,347	9.3	1,148	94,336	119,367							848,935	
6	R.3	0.8219	-5	-	66,242	-	-	-	-	93,188	12,347	9.3	1,148	94,336	114,778							816,296	
7	R.4	0.8548	-4	-	66,242	-	-	-	-	93,188	12,347	10.2	1,259	94,447	110,490							796,454	
8	R.5	0.8890	-3	-	66,242	9.0	5,962	5,962	6,706	93,188	12,347	24.8	3,062	96,250	108,268							997,649	
9	R.6	0.9246	-2	-	66,242	9.0	5,962	5,962	6,448	93,188	12,347	24.8	3,062	96,250	104,099							959,236	
10	R.7	0.9615	-1	-	66,242	9.0	5,962	5,962	6,201	93,188	12,347	24.8	3,062	96,250	100,104							922,424	
11	R.8	1.0000	0	-	66,242	9.0	5,962	5,962	5,962	93,188	12,347	24.8	3,062	96,250	96,250							887,089	評価年
12	R.9	1.0400	1	-	66,242	34.5	22,853	22,853	21,974	93,188	12,347	43.8	5,408	98,596	94,804							1,106,998	
13	R.10	1.0816	2	-	66,242	34.5	22,853	22,853	21,129	93,188	12,347	45.5	5,618	98,806	91,352							1,066,421	
14	R.11	1.1249	3	-	66,242	34.5	22,853	22,853	20,316	93,188	12,347	45.5	5,618	98,806	87,835							1,025,370	
15	R.12	1.1699	4	-	66,242	76.6	50,741	50,741	43,372	93,188	12,347	78.8	9,729	102,917	87,971							1,361,044	
16	R.13	1.2167	5	-	66,242	76.6	50,741	50,741	41,704	93,188	12,347	78.8	9,729	102,917	84,587							1,308,692	
17	R.14	1.2653	6	-	66,242	100.0	66,242	66,242	52,353	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	83,407							1,454,502	
18	R.15	1.3159	7	-	66,242	100.0	66,242	66,242	50,340	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	80,200							1,398,574	
19	R.16	1.3686	8	-	66,242	100.0	66,242	66,242	48,401	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	77,112							1,344,719	
20	R.17	1.4233	9	-	66,242	100.0	66,242	66,242	46,541	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	74,148							1,293,038	
21	R.18	1.4802	10	-	66,242	100.0	66,242	66,242	44,752	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	71,298							1,243,334	
22	R.19	1.5395	11	-	66,242	100.0	66,242	66,242	43,028	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	68,551							1,195,439	
23	R.20	1.6010	12	-	66,242	100.0	66,242	66,242	41,375	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	65,918							1,149,520	
24	R.21	1.6651	13	-	66,242	100.0	66,242	66,242	39,783	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	63,381							1,105,271	
25	R.22	1.7317	14	-	66,242	100.0	66,242	66,242	38,253	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	60,943							1,062,761	
26	R.23	1.8009	15	-	66,242	100.0	66,242	66,242	36,783	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	58,601							1,021,923	
27	R.24	1.8730	16	-	66,242	100.0	66,242	66,242	35,367	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	56,345							982,586	
28	R.25	1.9479	17	-	66,242	100.0	66,242	66,242	34,007	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	54,179							944,803	
29	R.26	2.0258	18	-	66,242	100.0	66,242	66,242	32,699	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	52,095		各効果における「同左割引後」の合計	=				908,471	
30	R.27	2.1068	19	-	66,242	100.0	66,242	66,242	31,442	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	50,093								873,545
31	R.28	2.1911	20	-	66,242	100.0	66,242	66,242	30,232	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	48,165							839,934	
32	R.29	2.2788	21	-	66,242	100.0	66,242	66,242	29,069	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	46,312							807,612	
33	R.30	2.3699	22	-	66,242	100.0	66,242	66,242	27,951	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	44,531							776,565	
34	R.31	2.4647	23	-	66,242	100.0	66,242	66,242	26,876	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	42,819							746,697	
35	R.32	2.5633	24	-	66,242	100.0	66,242	66,242	25,842	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	41,172							717,974	
36	R.33	2.6658	25	-	66,242	100.0	66,242	66,242	24,849	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	39,588							690,367	
37	R.34	2.7725	26	-	66,242	100.0	66,242	66,242	23,893	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	38,065							663,801	
38	R.35	2.8834	27	-	66,242	100.0	66,242	66,242	22,974	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	36,601							638,268	
39	R.36	2.9987	28	-	66,242	100.0	66,242	66,242	22,090	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	35,194							613,727	
40	R.37	3.1187	29	-	66,242	100.0	66,242	66,242	21,240	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	33,839							590,111	
41	R.38	3.2434	30	-	66,242	100.0	66,242	66,242	20,424	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	32,538							567,423	
42	R.39	3.3731	31	-	66,242	100.0	66,242	66,242	19,638	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	31,287							545,605	
43	R.40	3.5081	32	-	66,242	100.0	66,242	66,242	18,883	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	30,083							524,610	
44	R.41	3.6484	33	-	66,242	100.0	66,242	66,242	18,156	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	28,926							504,434	
45	R.42	3.7943	34	-	66,242	100.0	66,242	66,242	17,458	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	27,814							485,039	
46	R.43	3.9461	35	-	66,242	100.0	66,242	66,242	16,787	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	26,744							466,379	
47	R.44	4.1039	36	-	66,242	100.0	66,242	66,242	16,141	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	25,716							448,448	
48	R.45	4.2681	37	-	66,242	100.0	66,242	66,242	15,520	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	24,726							431,194	
49	R.46	4.4388	38	-	66,242	100.0	66,242	66,242	14,923	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	23,776							414,613	
50	R.47	4.6164	39	-	66,242	100.0	66,242	66,242	14,349	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	22,861							398,662	
51	R.48	4.8010	40	-	66,242	100.0	66,242	66,242	13,798	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	21,982							383,334	
52	R.49	4.9931	41	-	66,242	100.0	66,242	66,242	13,267	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	21,136							368,586	
53	R.50	5.1928	42	-	66,242	100.0	66,242	66,242	12,757	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	20,323							354,409	
54	R.51	5.4005	43	-	66,242	100.0	66,242	66,242	12,266	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	19,542							340,780	
55	R.52	5.6165	44	-	66,242	100.0	66,242	66,242	11,794	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	18,790							327,674	
56	R.53	5.8412	45	-	66,242	100.0	66,242	66,242	11,340	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	18,067							315,070	
57	R.54	6.0748	46	-	66,242	100.0	66,242	66,242	10,904	93,188	12,347	100.0	12,347	105,535	17								

※経過年は評価年から年の数

茨城中部地区の事業の効用に関する詳細
2 (1) 作物生産効果－1

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収 ②					
水稻	新設	ha 526	ha 423	ha 134	単収増 (干害防止)	kg/10a －	kg/10a －	kg/10a 1	t 1.3	千円/ t 235	千円 306	% 89	千円 272
				183	単収増 (乾田化Ⅰ)	549	582	33	60.4	235	14,194	89	12,633
				218	単収増 (乾田化Ⅱ)	549	565	16	34.9	235	8,202	89	7,300
				134	単収増 (水管理改良Ⅰ)	549	565	16	21.4	235	5,029	89	4,476
				59	単収増 (水管理改良Ⅱ)	549	560	11	6.5	235	1,528	89	1,360
					小計	－	－	－	124.5	－	－	－	－
				△ 103	作付減	549	－	549	△ 565.5	235	△ 132,893	－	－
					小計	－	－	－	△ 565.5	－	－	－	－
	更新	526	526	445	単収増 (水管理改良)	73	549	476	2,118.2	235	497,777	89	443,022
					小計	－	－	－	2,118.2	－	－	－	－
					水稻計	－	－	－	1,677.2	－	394,143	－	469,063
加工用米	新設	12	2	1	単収増 (干害防止)	－	－	－	0.0	129	－	86	－
				1	単収増 (乾田化Ⅰ)	549	582	33	0.3	129	39	86	34
				1	単収増 (乾田化Ⅱ)	549	565	16	0.2	129	26	86	22
				1	単収増 (水管理改良Ⅰ)	549	565	16	0.2	129	26	86	22
					小計	－	－	－	0.7	－	－	－	－
				△ 10	作付減	549	－	549	△ 54.9	129	△ 7,082	－	－
					小計	－	－	－	△ 54.9	－	－	－	－
	更新	12	12	11	単収増 (水管理改良)	73	549	476	52.4	129	6,760	86	5,814
					小計	－	－	－	52.4	－	－	－	－
					加工用米計	－	－	－	△ 1.8	－	△ 231	－	5,892

茨城中部地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－2

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収 ②					
飼料用米	新設	8	96	4	単収増(干害防止)	kg/10a －	kg/10a －	kg/10a －	t 0.0	千円/ t 26	千円 －	% 28	千円 －
				5	単収増(乾田化Ⅰ)	549	582	33	1.7	26	44	28	12
				3	単収増 (乾田化Ⅱ)	549	565	16	0.5	26	13	28	4
				4	単収増 (水管理改良Ⅰ)	549	565	16	0.6	26	16	28	4
				1	単収増 (水管理改良Ⅱ)	549	560	11	0.1	26	3	28	1
					小計	－	－	－	2.9	－	－	－	－
				88	作付増	549	585	585	514.8	26	13,385	－	－
					小計	－	－	－	514.8	－	－	－	－
	更新	8	8	6	単収増 (水管理改良)	73	549	476	28.6	26	744	28	208
					小計	－	－	－	28.6	－	－	－	－
					飼料用米計	－	－	－	546.3	－	14,205	－	229
稲発酵粗飼料用稲	新設	7	16	9	作付増	3,000	3,000	3,000	270.0	17	4,590	10	459
					小計	－	－	－	270.0	－	－	－	－
	更新	7	7	7	単収増 (湿潤かんがい)	2,500	3,000	500	35.0	17	595	17	101
					小計	－	－	－	35.0	－	－	－	－
					稲発酵粗飼料用稲計	－	－	－	305.0	－	5,185	－	560

茨城中部地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－3

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収 ②					
大豆	新設	ha 31	ha 81	ha 30	単収増(乾田化)	kg/10a 136	kg/10a 180	kg/10a 44	t 13.2	千円/t 152	千円 2,006	% 88	千円 1,765
					小計	－	－	－	13.2	－	－	－	－
				50	作付増	136	179	179	89.5	152	13,604	－	－
					小計	－	－	－	89.5	－	－	－	－
	更新	31	31	24	単収増 (湿潤かんがい)	126	136	10	2.4	152	365	88	321
				24	単収増 (田畑輪換)	118	136	18	4.3	152	654	88	576
					小計	－	－	－	6.7	－	－	－	－
					大豆計	－	－	－	109.4	－	16,629	－	2,662
かんしょ(生食)	新設	4	6	3	単収増(乾田化)	3,423	4,243	820	24.6	186	4,576	90	4,118
					小計	－	－	－	24.6	－	－	－	－
				2	作付増	3,423	4,038	4,038	80.8	186	15,029	12	1,803
					小計	－	－	－	80.8	－	－	－	－
	更新	4	4	4	単収増 (湿潤かんがい)	2,977	3,423	446	17.8	186	3,311	90	2,980
				4	単収増 (田畑輪換)	2,977	3,423	446	17.8	186	3,311	90	2,980
					小計	－	－	－	35.6	－	－	－	－
					かんしょ(生食)計	－	－	－	141.0	－	26,227	－	11,881
かんしょ(加工)	新設	4	6	3	単収増(乾田化)	736	914	178	5.3	2,246	11,904	93	11,071
					小計	－	－	－	5.3	－	－	－	－
				2	作付増	736	869	869	17.4	2,246	39,080	75	29,310
					小計	－	－	－	17.4	－	－	－	－
	更新	4	4	4	単収増 (湿潤かんがい)	498	736	238	9.5	2,246	21,337	93	19,843
				4	単収増 (田畑輪換)	640	736	96	3.8	2,246	8,535	93	7,938
					小計	－	－	－	13.3	－	－	－	－
					かんしょ(加工)計	－	－	－	36.0	－	80,856	－	68,162

茨城中部地区の事業の効用に関する詳細

2 (1) 作物生産効果－3

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益 ⑤＝ ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦＝ ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収 ②					
ねぎ	新設	ha 0	ha 12	ha －	単収増(乾田化)	kg/10a 4,940	kg/10a 5,421	kg/10a 481	t －	千円/t 350	千円 －	% 91	千円 －
					小計	－	－	－	－	－	－	－	－
				12	作付増	4,940	5,421	5,421	650.5	350	227,675	16	36,428
					小計	－	－	－	650.5	－	－	－	－
					ねぎ計	－	－	－	650.5	－	227,675	－	36,428
小麦	新設	33	81	48	作付増	232	349	349	167.5	39	6,533	－	－
					小計	－	－	－	167.5	－	－	－	－
				32	単収増(乾田化)	232	353	121	38.7	39	1,509	84	1,268
					小計	－	－	－	38.7	－	－	－	－
	更新	33	33	27	単収増(田畑輪換)	202	232	30	8.1	39	316	84	265
					小計	－	－	－	8.1	－	－	－	－
					小麦計	－	－	－	214.3	－	8,358	－	1,533
水田計	新設	625	723								229,342		112,362
	更新	625	625								543,705		484,048
ねぎ	新設	1	2	1	作付増	4,372	4,372	－	43.7	－	－	－	－
					小計	－	－	－	43.7	350	15,295	16	2,447
					ねぎ計	－	－	－	43.7	－	15,295	－	2,447
畑計	新設	1	2								15,295		2,447
	更新	1	1								－		－
新設		632	731								244,637		114,809
更新		632	632								543,705		484,048
合計											788,342		598,857

茨城中部地区の事業の効用に関する詳細

2 (3) 営農経費節減効果－1

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤＝（①－②） ＋ （③－④）	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
	新設		更新				
	現況 （事業なかりせば） ①	計画 （事業ありせば） ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
主食用水稲（担い手・平坦地・中区画乾田→大区画Ⅱ）（区画整理）	747,896	378,121	－	－	369,775	4.9	1,812
主食用水稲（担い手・平坦地・小区画乾田→大区画Ⅱ）（区画整理）	1,705,341	399,147	－	－	1,306,194	5.4	7,053
主食用水稲（担い手・平坦地・小区画乾田→大区画Ⅱ）（区画整理）	1,893,389	480,211	－	－	1,413,178	4.3	6,077
主食用水稲（担い手・平坦地・小区画乾田→大区画Ⅱ）（区画整理）	1,292,298	707,677	－	－	584,621	0.2	117
主食用水稲（担い手・平坦地・大区画湿田→大区画Ⅱ）（区画整理）	965,069	378,121	－	－	586,948	6.1	3,580
主食用水稲（担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅱ）（区画整理）	1,616,344	399,147	－	－	1,217,197	19.4	23,614
主食用水稲（担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅱ）（区画整理）	1,013,531	378,121	－	－	635,410	27.4	17,410
主食用水稲（担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅱ）（区画整理）	1,804,812	480,211	－	－	1,324,601	15.4	20,399
主食用水稲（担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅱ）（区画整理）	1,204,294	707,677	－	－	496,617	0.6	298
主食用水稲（担い手・平坦地・小区画湿田→大区画Ⅱ）（区画整理）	1,788,311	399,147	－	－	1,389,164	126.1	175,174
主食用水稲（担い手・平坦地・小区画湿田→大区画Ⅱ）（区画整理）	1,979,025	480,211	－	－	1,498,814	100.3	150,331
主食用水稲（担い手・平坦地・小区画湿田→大区画Ⅱ）（区画整理）	1,623,578	707,677	－	－	915,901	3.9	3,572
主食用水稲（担い手・平坦地・小区画乾田→大区画Ⅰ）（区画整理）	1,893,389	511,019	－	－	1,382,370	1.2	1,659
主食用水稲（担い手・平坦地・小区画乾田→大区画Ⅰ）（区画整理）	2,932,790	623,760	－	－	2,309,030	1.0	2,309
主食用水稲（非担い手・平坦地・小区画乾田→大区画Ⅰ）（区画整理）	4,449,604	628,159	－	－	3,821,445	0.1	382
主食用水稲（担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅰ）（区画整理）	1,804,812	511,019	－	－	1,293,793	4.5	5,822
主食用水稲（担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅰ）（区画整理）	2,845,263	623,760	－	－	2,221,503	3.6	7,997
主食用水稲（非担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅰ）（区画整理）	4,379,073	628,159	－	－	3,750,914	0.4	1,500
主食用水稲（担い手・平坦地・小区画湿田→大区画Ⅰ）（区画整理）	1,979,025	511,019	－	－	1,468,006	29.2	42,866
主食用水稲（担い手・平坦地・小区画湿田→大区画Ⅰ）（区画整理）	3,021,724	623,760	－	－	2,397,964	23.5	56,352
主食用水稲（非担い手・平坦地・小区画湿田→大区画Ⅰ）（区画整理）	4,609,898	628,159	－	－	3,981,739	2.9	11,547
主食用水稲（非担い手・平坦地・小区画乾田→中区画）（区画整理）	4,434,688	667,525	－	－	3,767,163	0.2	753

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
主食用水稻(非担い手・平坦地・小区画乾田→中区画)(区画整理)	4,449,604	668,098	-	-	3,781,506	1.2	4,538
主食用水稻(非担い手・平坦地・中区画湿田→中区画)(区画整理)	4,370,321	667,525	-	-	3,702,796	0.8	2,962
主食用水稻(非担い手・平坦地・中区画湿田→中区画)(区画整理)	4,379,073	668,098	-	-	3,710,975	4.4	16,328
主食用水稻(担い手・谷地田・小区画湿田→中区画)(区画整理)	1,629,967	669,741	-	-	960,226	2.6	2,497
主食用水稻(非担い手・平坦地・小区画湿田→中区画)(区画整理)	4,607,159	667,525	-	-	3,939,634	5.0	19,698
主食用水稻(非担い手・平坦地・小区画湿田→中区画)(区画整理)	4,609,898	668,098	-	-	3,941,800	28.0	110,370
主食用水稻(小区画) (用水改良)	-	-	2,872,148	2,876,452	△ 4,305	281.6	△ 1,212
主食用水稻(大中区画) (用水改良)	-	-	2,366,743	2,284,590	82,153	163.8	13,457
加工用米(非担い手・平坦地・小区画乾田→中区画)(区画整理)	4,434,688	667,525	-	-	3,767,163	0.1	377
加工用米(非担い手・平坦地・中区画湿田→中区画)(区画整理)	4,370,321	667,525	-	-	3,702,796	0.3	1,111
加工用米(非担い手・平坦地・小区画湿田→中区画)(区画整理)	4,607,159	667,525	-	-	3,939,634	1.6	6,303
加工用米(小区画) (用水改良)	-	-	4,516,620	4,520,924	△ 4,305	6.8	△ 29
加工用米(大中区画) (用水改良)	-	-	4,452,474	4,370,321	82,153	3.9	320
飼料用米(担い手・平坦地・中区画乾田→大区画Ⅱ)(区画整理)	747,896	378,121	-	-	369,775	3.8	1,405
飼料用米(担い手・平坦地・大区画湿田→大区画Ⅱ)(区画整理)	965,069	378,121	-	-	586,948	4.7	2,759
飼料用米(担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅱ)(区画整理)	1,013,531	378,121	-	-	635,410	21.5	13,661
飼料用米(担い手・平坦地・小区画乾田→大区画Ⅰ)(区画整理)	2,932,790	623,760	-	-	2,309,030	2.4	5,542
飼料用米(担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅰ)(区画整理)	2,845,263	623,760	-	-	2,221,503	8.5	18,883
飼料用米(担い手・平坦地・小区画湿田→大区画Ⅰ)(区画整理)	3,021,724	623,760	-	-	2,397,964	55.1	132,128
飼料用米(小区画) (用水改良)	-	-	2,972,953	2,977,257	△ 4,305	3.9	△ 17
飼料用米(大中区画) (用水改良)	-	-	1,475,093	1,392,940	82,153	2.5	205
稲発酵粗飼料用稲(担い手・平坦地・中区画乾田→大区画Ⅱ)(区画整理)	366,739	159,424	-	-	207,315	2.0	415
稲発酵粗飼料用稲(担い手・平坦地・大区画湿田→大区画Ⅱ)(区画整理)	398,864	159,424	-	-	239,440	2.5	599
稲発酵粗飼料用稲(担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅱ)(区画整理)	441,394	159,424	-	-	281,970	11.5	3,243

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤＝ (①-②) ＋ (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
稲発酵粗飼料用稲（大中区画） （用水改良）	-	-	484,485	402,332	82,153	7.2	591
小麦(担い手・平坦地・中区画乾田→大区画Ⅱ)（区画整理）	814,190	290,613	-	-	523,577	7.6	3,979
小麦(担い手・平坦地・小区画乾田→大区画Ⅱ)（区画整理）	2,437,600	391,214	-	-	2,046,386	0.6	1,228
小麦(担い手・平坦地・大区画湿田→大区画Ⅱ)（区画整理）	860,413	290,613	-	-	569,800	9.5	5,413
小麦(担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅱ)（区画整理）	2,453,303	391,214	-	-	2,062,089	2.3	4,743
小麦(担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅱ)（区画整理）	1,111,336	290,613	-	-	820,723	43.3	35,537
小麦(担い手・平坦地・小区画湿田→大区画Ⅱ)（区画整理）	2,567,492	391,214	-	-	2,176,278	15.1	32,862
小麦(担い手・谷地田・小区画湿田→中区画)（区画整理）	1,988,367	738,624	-	-	1,249,743	2.6	3,249
小麦（小区画） （用水改良）	-	-	2,331,153	2,331,153	-	-	-
小麦（大中区画） （用水改良）	-	-	1,309,811	1,309,811	-	-	-
大豆(担い手・平坦地・中区画乾田→大区画Ⅱ)（区画整理）	1,138,004	498,529	-	-	639,475	7.9	5,052
大豆(担い手・平坦地・小区画乾田→大区画Ⅱ)（区画整理）	3,429,992	620,964	-	-	2,809,028	0.6	1,685
大豆(担い手・平坦地・大区画湿田→大区画Ⅱ)（区画整理）	1,152,422	498,529	-	-	653,893	10.0	6,539
大豆(担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅱ)（区画整理）	3,328,589	620,964	-	-	2,707,625	2.3	6,228
大豆(担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅱ)（区画整理）	1,448,907	498,529	-	-	950,378	45.1	42,862
大豆(担い手・平坦地・小区画湿田→大区画Ⅱ)（区画整理）	3,570,816	620,964	-	-	2,949,852	15.1	44,543
大豆（小区画） （用水改良）	-	-	3,351,794	3,500,404	△ 148,610	14.5	△ 2,155
大豆（大中区画） （用水改良）	-	-	1,734,685	1,766,981	△ 32,296	9.4	△ 304
ねぎ(担い手・平坦地・小区画乾田→大区画Ⅱ)（区画整理）	5,385,279	4,424,826	-	-	960,453	0.4	384
ねぎ(担い手・平坦地・中区画湿田→大区画Ⅱ)（区画整理）	5,255,770	4,424,826	-	-	830,944	1.5	1,246
ねぎ(担い手・平坦地・小区画湿田→大区画Ⅱ)（区画整理）	5,419,000	4,424,826	-	-	994,174	10.1	10,041
ねぎ（小区画） （用水改良）	-	-	5,372,592	5,402,140	△ 29,549	0.2	△ 6
ねぎ（大中区画） （用水改良）	-	-	5,340,603	5,255,770	84,833	0.1	8
かんしょ(生食)(担い手・平坦地・小区画乾田→大区画Ⅱ)（区画整理）	2,343,988	1,968,986	-	-	375,002	0.2	75

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費 ⑤= (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば 営農経費 ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
かんしょ(生食)(担い手・平坦地・中区画湿田→大 区画Ⅱ)(区画整理)	2,282,932	1,968,986	-	-	313,946	0.5	157
かんしょ(生食)(担い手・平坦地・小区画湿田→大 区画Ⅱ)(区画整理)	2,404,581	1,968,986	-	-	435,595	2.9	1,263
かんしょ(生食)(担い手・平坦地・中区画湿田→大 区画Ⅰ)(区画整理)	2,282,932	1,988,572	-	-	294,360	0.1	29
かんしょ(生食)(担い手・平坦地・小区画湿田→大 区画Ⅰ)(区画整理)	2,404,581	1,988,572	-	-	416,009	1.0	416
かんしょ(生食)(担い手・谷地田・小区画湿田→中 区画)(区画整理)	2,404,581	1,238,422	-	-	1,166,159	1.3	1,516
かんしょ(生食)(小区画) (用水改良)	-	-	2,294,381	2,389,433	△ 95,052	2.4	△ 228
かんしょ(生食)(大中区画) (用水改良)	-	-	2,278,418	2,282,932	△ 4,514	1.3	△ 6
かんしょ(加工)(小区画) (用水改良)	-	-	12,300,607	12,395,659	△ 95,052	2.4	△ 228
かんしょ(加工)(大中区画) (用水改良)	-	-	12,284,644	12,289,158	△ 4,514	1.3	△ 6
田計							1,102,880
普通畑							-
新設							1,092,490
更新							10,390
合計							1,102,880